

年度番号	事故発生日	品名	型式機種	製造・輸入・販売業者	法人番号	被害の種別	事故通知内容	品の使用	事故原因	事故原因区分	再発防止措置	事故通知者 1	事故受付日	品目分類コード	品目	備考
A201700340	2017/08/25	温水洗浄便座				11.火災	事業所で当該製品を清掃する火災が発生した。(事故発生地:東京都)		○当該製品は、便座内面に貼り付けたヒーター線が断線しており、断線箇所の上板に集げが空いていた。○便座内部の部材取付部の一部に、ヒーター線との圧接による溶融が認められた。○便座は上板と部材の接着部がはがれており、部材は部材付着で覆われていた。○ヒーター線の断線部及び部材取付部が腐食箇所から発生応じた。○当該製品の便座と当該事業者製の便器の線間は適合しておらず、着座すると便座部と便器の線間からずれ落ちる状態であった。○取扱説明書及び施工説明書には便座と便器の形状の不適合に関する注意表示は記載されていなかった。○当該製品は便座と便器の形状の不適合に関する注意表示は記載されており、原因が明瞭であったが、便座と便器の形状の不適合である製品を改修せず継続使用されていた。●当該製品は、形状の適合していない同社製便器に設置されたため、着座時に当該製品の部材が便器の線間から脱落し、前後線路と接触して便座部がはがれ、さらにその金属部が使用されたため、便座の内面ヒーター線が断線、断線してスパーク、異常発熱が生じて事故に至ったものと考えられ、過去に同一事故の事故が発生し、原因が明瞭していたにもかかわらず、改修をせずに継続使用されたため、事故に至ったものと認定される。	E 1		経済産業省 非重大製品事故(2017-1158)	2017/09/08	01	家庭用電気製品	
A201700282	2017/08/01	温水洗浄便座	CH672SPF	松下電工(株)(現 パナソニック(株))		2.重傷	当該製品を使用中、火傷を負った。(事故発生地:兵庫県)		当該製品は、長期使用(16年)により、温水サーモスタット高温検出用スイッチが故障したため、温水タンク内の水温が上昇し、使用時に洗浄ノズルから噴出した熱湯で火傷を負ったものと認定される。	-	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省 重大製品事故(2017-0962)	2017/08/10	01	家庭用電気製品	
A201700228	2017/07/08	温水洗浄便座	TCF401R	東陶機器(株)(現 TOTO(株))		11.火災	当該製品を清掃し、周辺を汚損する火災が発生した。(事故発生地:三重県)		当該製品は、電源基盤の電源入力部で、トラッキング現象が生じて出火したものと推定されるが、基板の損傷が著しく、トラッキング現象が生じた原因の特定には至らなかった。	-	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省 重大製品事故(2017-0693)	2017/07/21	01	家庭用電気製品	
A201700034	2017/04/05	温水洗浄便座	TCF970	東陶機器(株)(現 TOTO(株))		11.火災	当該製品を清掃する火災が発生し、2名が軽傷を負った。(事故発生地:静岡県)		事故原因は、コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクタ接続部にメッキ不良があり、使用中の熱膨張及び振動によりメッキが削れてコネクタ一部分が接触不良となり発熱し、その影響により、コントローラー基板の上はんだ付け部にはんだクラックが生じ、絶縁不良となり、異機間でスパークし、焼損したものと考えられる。	-	東陶機器(株)(現 TOTO(株))は、当該製品を含む対象機種について、製品内部の一部接続部で接触不良が発生し、プラスチック製タンクの一部分から発熱・出火に至るおそれがあることから、平成19年4月16日にホームページへ情報を掲載するとともに、至17日に新聞社を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・改修を実施している。	経済産業省 重大製品事故(2017-0114)	2017/04/17	01	家庭用電気製品	
A201600711	2017/02/14	温水洗浄便座	CW-H111 (株)INAX (現(株)LIXIL (株)LIXIL)ブランド)	アイン機構(株) (株)INAX(現 (株)LIXIL)ブランド)		11.火災	事業所で当該製品を清掃する火災が発生した。(事故発生地:東京都)		当該製品の制御基板において、電源コードを接続するコネクタのはんだ付け部に不良があったため、接続不良により異常発熱し、基板の一部を焼損したものと推定されるが、はんだ付け部分が脱落していたため、接続不良が発生した原因の特定には至らなかった。	-	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省 重大製品事故(2016-2294)	2017/02/23	01	家庭用電気製品	
A201600653	2017/01/21	温水洗浄便座	TCF965	東陶機器(株)(現 TOTO(株))		11.火災	当該製品を清掃する火災が発生した。(事故発生地:静岡県)		事故原因は、コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクタ接続部にメッキ不良があり、使用中の熱膨張及び振動によりメッキが削れてコネクタ一部分が接触不良となり発熱し、その影響により、コントローラー基板の上はんだ付け部にはんだクラックが生じ、絶縁不良となり、異機間でスパークし、焼損したものと考えられる。	-	東陶機器(株)(現 TOTO(株))は、当該製品を含む対象機種について、製品内部の一部接続部で接触不良が発生し、プラスチック製タンクの一部分から発熱・出火に至るおそれがあることから、平成19年4月16日にホームページへ情報を掲載するとともに、至17日に新聞社を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・改修を実施している。	経済産業省 重大製品事故(2016-2125)	2017/02/03	01	家庭用電気製品	
A201600572	2016/12/26	温水洗浄便座	TCF970	東陶機器(株)(現 TOTO(株))		11.火災	当該製品を清掃する火災が発生した。(事故発生地:福島県)		事故原因は、コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクタ接続部にメッキ不良があり、使用中の熱膨張及び振動によりメッキが削れてコネクタ一部分が接触不良となり発熱し、その影響により、コントローラー基板の上はんだ付け部にはんだクラックが生じ、絶縁不良となり、異機間でスパークし、焼損したものと考えられる。	-	東陶機器(株)(現 TOTO(株))は、当該製品を含む対象機種について、製品内部の一部接続部で接触不良が発生し、プラスチック製タンクの一部分から発熱・出火に至るおそれがあることから、平成19年4月16日にホームページへ情報を掲載するとともに、至17日に新聞社を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・改修を実施している。	経済産業省 重大製品事故(2016-1925)	2017/01/10	01	家庭用電気製品	
A201600267	2016/08/11	温水洗浄便座	TCF965L	東陶機器(株)(現 TOTO(株))		11.火災	当該製品を清掃する火災が発生した。(事故発生地:兵庫県)		事故原因は、コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクタ接続部にメッキ不良があり、使用中の熱膨張及び振動によりメッキが削れてコネクタ一部分が接触不良となり発熱し、その影響により、コントローラー基板の上はんだ付け部にはんだクラックが生じ、絶縁不良となり、異機間でスパークし、焼損したものと考えられる。	-	東陶機器(株)(現 TOTO(株))は、当該製品を含む対象機種について、製品内部の一部接続部で接触不良が発生し、プラスチック製タンクの一部分から発熱・出火に至るおそれがあることから、平成19年4月16日にホームページへ情報を掲載するとともに、至17日に新聞社を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・改修を実施している。	経済産業省 重大製品事故(2016-1035)	2016/08/22	01	家庭用電気製品	
A201500555	2015/10/09	暖房便座				2.重傷	施設で使用者が当該製品を使用したところ、火傷を負った。(事故発生地:北海道)		○施設では、資料、当該製品の温度調節スイッチつまみを取り外し、電源プラグをコンセントから抜いていた。○事故発生時に入居者に付き添っていた職員は、便座の状態を確認せずに入居者に使用させていた。○入居者は、約20分間当該便座に座り、臀部、太もも、膝裏等に低温火傷を負った。○事故発生後に施設の職員が確認したところ、便座は通常された状態であった。○当該製品の外形は、温度調節スイッチつまみ及び使フタが取り外されていたものの、キズ、打痕、変形等の異常は認められなかった。○温度調節用指輪「爪」及び「爪」の状態や電圧、便座室温温度を測定したところ、異常な温度上昇は認められなかった。○制御基板、ヒーター線及びサーモスタット異常は認められなかった。●当該製品に異常が認められないことから、過電状態の便座に長時間着座していたため低温火傷を負ったものと考えられ、温度調節スイッチの管理及び使用時の注意が不十分であったものと認定される。なお、取扱説明書には、「長時間使用した場合に低温火傷の恐れがあるため、お年寄り、病弱者、自分で温度調節のできない方等は、用いの方の便座温度を「切」にする。」旨、記載されている。	E2	経済産業省 非重大製品事故(2015-2034)	2015/12/08	01	家庭用電気製品		

年度番号	事故発生日	品名	型式機種	製造・輸入・販売業者	法人番号	被害の種類	事故通知内容	品の使用期間	事故原因	事故原因区分	再発防止措置	事故通知者 1	事故受付日	品目分類コード	品目	備考
A201500500	2015/11/04	温水洗浄便座	DT-5823U	(株)INAX (現 LIXIL)		11.火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。		調査の結果、当該製品は、止水弁フタが劣化劣化によって剛硬度が低下したことにより亀裂が生じ、亀裂から漏れた水が電圧端子部に掛かり、電圧端子部の抵抗値がトランジスタ現象により低下し、コントロール基板のトリアックに過電流が流れて異常発熱し、発火に至ったものと推定される。		当社は製造事業者である(株)LIXILに対して、再発防止措置の検討を要請し、同社としては、2016年12月時点で、事故用部品を市場回収して調査を行う予定である。また、引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、同社の調査を踏まえ、必要に応じて対応を行うこととする。(2016年12月更新)上記調査の結果、(株)LIXILとしては事故再発の可能性は低いと考えるが、2017年4月より同社の自主製品保守検閲制度「INAX NEXT プログラム」を拡充することで、製品安全対策を講じる予定である。(2017年4月更新)	経済産業省 重大製品事故(2015-1777)	2015/11/13	01	家庭用電気製品	
A201500217	2015/06/19	温水洗浄便座	TCF4031	東陶機器(株)(現 TOTO(株))		11.火災	当該製品を焼損する火災が発生した。(事故発生地:埼玉県)		当該製品は、制御基板の電源コネクタで、何らかの要因により、接触不良が生じ、異常発熱して焼損に至ったものと推定される。接触不良の要因としては、はんだ付け不良などが推定されるが、出火部の焼損が甚しいため、原因の特定に至らなかった。また、使用者が故障を修理せず使用していたことも事故の発生に影響したものと推定される。なお、取扱説明書には「故障かなと思ったら、記載の修理方法を試し、それでも直らないときは取付け店・販売店等に相談する。」旨、記載されている。		引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省 重大製品事故(2015-0718)	2015/07/02	01	家庭用電気製品	
A201500173	2015/05/21	暖房便座	TCF7(TOTO株式会社ブランド)	松下電器産業(株)(現 パナソニック株式会社ブランド)		11.火災	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。(事故発生地:静岡県)		当該製品は長期使用(約30年)により、便座の電源コードプロテクター部に使用期間による屈曲ストレス等が繰り返し加わり、電源コードが断線、スパークして発火に至ったものと推定される。		引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省 重大製品事故(2015-0551)	2015/06/12	01	家庭用電気製品	
A201500098	2015/03/01	温水洗浄便座				2.重傷	使用者が当該製品を使用中、低温火傷を負った。(事故発生地:愛知県)		○使用者は、肌が弱いのが原因のため、事故当時、便座温度を「高」で使用していた。○当該製品の外観に亀裂等の異常は認められなかった。○電気部品に異常は認められず、洗浄・温水・暖房制御機能は正常に作動した。○便座の表温度に異常は認められなかった。○ノイズ試験で故障件が生じなかった。●当該製品の使用状況が不明なことから、事故原因の特定に至らなかったが、当該製品に異常は認められなかったため、製品に起因しない事故と推定される。なお、便ふたの内側には、「お年寄りや便座スイッチを「低」または「切」にする。」旨、取扱説明書には、「お年寄り、病気の方、皮膚の弱い方が使用する際は、便座スイッチを「低」、または「切」にする。長時間使用すると低温火傷をおこす恐れがある。」旨、記載されている。	F2	経済産業省 非重大製品事故(2015-0273)	2015/05/11	01	家庭用電気製品		
A201500063	2015/03/19	暖房便座				2.重傷	施設で使用者(80歳代)が当該製品を使用中、低温火傷を負った。(事故発生地:宮崎県)		○当該施設では、通常、暖房便座の温度調節つまみは「別」に設定され、変更できないようにテープで固定されていたが、テープが外れて「高」の設定となっていた。○当該製品の温度調節スイッチが「高」の状態でも6分間着座していた。○当該製品は運転可能な状態であり、熱突形等の異常は認められなかった。○当該製品の表温度は仕様の範囲内であり、異常は認められなかった。●当該製品に異常は認められなかったため、当該製品に強の状態でも長時間着座していたため低温火傷を負ったものと推定される。なお、当該製品本体には、「低温火傷に注意する。」「長時間お使いになるときはスイッチを切る。」「お年寄り、身体の不自由な方、温度感覚のない方は、着座後便座スイッチを切って使用する」旨、記載されている。	E2	経済産業省 非重大製品事故(2015-0171)	2015/04/22	01	家庭用電気製品		
A201500020	2015/02/21	暖房便座				2.重傷	当該製品を使用中、低温火傷を負った。(事故発生地:福岡県)		○事故発生時、使用者は4時間以上着座状態であった。○当該製品の便座温度調節機能は正常であった。○製品内部の電気部品に異常は認められなかった。●当該製品の電気部品等に異常はみられず、便座温度測定においても異常温度にはならなかったことから、便座の上に4時間以上の長時間着座していたため、低温火傷を負ったものと推定される。なお、取扱説明書には「長時間使用すると、低温ヤケドをおこす恐れがある。」旨、記載されている。	E2	経済産業省 非重大製品事故(2015-0074)	2015/04/07	01	家庭用電気製品		
A201400831	2015/03/05	温水洗浄便座	CW-1111(株)INAX(現 LIXIL)ブランド)	アイシン精機(株)(株)INAX(現 LIXIL)ブランド)		11.火災	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。(事故発生地:愛知県)		当該製品は、中継基板にはんだ付け不良があったため、はんだ割れによる異常発熱により、周囲の基板が劣化して制御パターン間でトランジスタ現象が生じ、発火に至ったものと推定される。		引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省 重大製品事故(2014-2853)	2015/03/12	01	家庭用電気製品	
A201400463	2014/10/20	温水洗浄便座	TCF940	東陶機器(株)(現 TOTO(株))		11.火災	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。(事故発生地:神奈川県)		事故原因は、コントロール基板上の温水センサー用コネクタ接続部にメッキ不良があり、使用中の熱膨張及び振動によりメッキが削がれてコネクタ部分が接触不良となり発熱し、その影響により、コントロール基板の上にはんだ付け部にはんだクラックが生じ、絶縁不良となり、異音でスパークし、焼損したものと考えられる。		東陶機器株式会社(現TOTO株式会社)は、当該製品を含む対象機種について、製品内部の一部部品で発熱の発生し、プラスチック製筐体の一部が発熱、出火に至るおそれがあることから、平成14年4月16日にホームページ情報を掲載するとともに、翌17日に新聞社を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・改修を実施している。	経済産業省 重大製品事故(2014-1690)	2014/10/30	01	家庭用電気製品	
A201400345	2014/08/29	温水洗浄便座	TCF975	東陶機器(株)(現 TOTO(株))		11.火災	当該製品から発生する火災が発生した。(事故発生地:東京都)		当該製品は、便座・便蓋閉鎖制御基板のモータードライバーICの発熱リード端子間で絶縁不良が生じたため発熱して、便座・便蓋閉鎖制御基板及びコントロール基板が異常発熱し、発熱したものと考えるが、事故原因の特定に至らなかった。		引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省 重大製品事故(2014-1356)	2014/09/09	01	家庭用電気製品	
A201400297	2014/08/09	温水洗浄便座	TCF4111	東陶機器(株)(現 TOTO(株))		11.火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。(事故発生地:岐阜県)		当該製品は、便座コードの断線部に尿等の異物が付着したことにより、発熱し出火に繋がったと推定されるが、便座コードが断線した原因の特定に至らなかった。		引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省 重大製品事故(2014-1230)	2014/08/22	01	家庭用電気製品	
A201400275	2014/08/03	温水洗浄便座	CW-100(株)INAX(現 LIXIL)ブランド)	アイシン精機(株)(株)INAX(現 LIXIL)ブランド)		11.火災	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。		当該製品は長期使用されていた便座電源コードが断線したことにより出火に至ったものであるが、便座電源コードが断線に至った原因については特定されていない。		アイシン精機株式会社は、当該製品を含む対象機種について、同社が直接販売した製品については、平成20年11月26日にプレスリリースを行い、平成20年12月3日に新聞広告を掲載し、使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施している。また、販売事業者である株式会社INAX(現株式会社LIXIL)においては、平成20年11月26日にプレス発表を行い、平成20年11月27日に新聞広告を掲載し、長期使用されている対象製品の使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施している。なお、不具合確認作業にて不具合が確認された場合は、事故防止のため温水洗浄便座としての使用を中止するよう呼び掛けている。	経済産業省 重大製品事故(2014-1149)	2014/08/08	01	家庭用電気製品	
A201400213	2014/07/01	温水洗浄便座	TCF401	東陶機器(株)(現 TOTO(株))		11.火災	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。(事故発生地:広島県)		当該製品は、長期使用(約30年)により製品内部の給水管接続部から漏れた水状態で、使用を継続したことにより、温水/メタルスイッチの電線が絶縁劣化して異常発熱が生じ発火に至ったものと推定される。		引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省 重大製品事故(2014-0860)	2014/07/11	01	家庭用電気製品	

年度番号	事故発生日	品名	型式機種	製造・輸入・販売業者	法人番号	被害の種類	事故通知内容	品の使用期間	事故原因	事故原因区分	再発防止措置	事故通知者 1	事故受付日	品目分類コード	品目	備考
A201300755	2014/01/20	温水洗浄便座	TCF581MRV6PA	TOTO (株)		11.火災	当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生した。(事故発生地:東京都)		調査の結果、当該製品は、販売カタログの購入前の確認事項、取扱説明書及び施工説明書に同社製便器に関する注意事項がなく、形状の合っていない同社製便器に設置されたため、着座時に当該製品のボトムが便器の縁面から脱落し、直に便座と接触して便座着座部が割れた。割れに付き主電源が作動したため、便座の内部配線、配線が露出し、ショート、電気絶縁が失われて、事故に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「製品にヒビ割れが入っている等故障したまま使い続けると火災の原因になる。」が記載されている。	---	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省 重大製品事故(2013-3670)	2014/01/30	01	家庭用電気製品	
A201300699	2013/12/30	温水洗浄便座	TCF965LYG	東陶機器(株)(現TOTO(株))		11.火災	異音が生じたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。(事故発生地:北海道)		事故原因は、コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクタ接続部において、部品メーカーにより特定期間内に製造したコネクタがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱膨張及び振動により、メッキが削がれてコネクタ部分が接触不良となり発熱した。その影響によりコントローラー基板の上のんだ付け部に、はんだクラックが生じ絶縁不良となり、異音間でスパークし、焼損したものと考えられる。	---	東陶機器株式会社(現TOTO株式会社)は、当該製品を含む対象機種について、製品内部の一部接続部で接触不良が発生し、プラスチック製タンクの一部から発煙・出火に至るおそれがあることから、平成19年4月16日にホームページへ情報を掲載するとともに、翌7日に新聞記者を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・改修を実施している。	経済産業省 重大製品事故(2013-3465)	2014/01/16	01	家庭用電気製品	
A201300352	2013/08/02	温水洗浄便座				2.重傷	病院で当該製品を使用していたところ、臀部に低温火傷を負った。(事故発生地:岩手県)		○当該製品は病院の個室に設置されており、詳細な使用状況は不明であった。○当該製品の操作部には、便座温度は「低」又は「高」にする旨、説明や注意ラベルを貼っていたが、便座温度は「中」になっていた。○当該製品の便座に黄色・赤色はついておらず、便座温度は「高」4.3℃、「中」4.0℃、「低」3.3℃で安定し、異常は認められなかった。○便座内部のヒーター及び温度センサーの貼り付け状態に異常は認められなかった。○取扱説明書には、「お年寄り、病気の方、皮膚の弱い方は、便座温度を「低」か「中」にする。長時間使用すると低温火傷のおそれがある。」旨、記載されていた。●当該製品の詳細な使用状況が不明なため、事故原因の特定には至らなかったが、当該製品に異常は認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。	P2	経済産業省 非重大製品事故(2013-1362)	2013/08/19	01	家庭用電気製品		
A201300173	2013/05/29	温水洗浄便座	TCF970	東陶機器(株)(現TOTO(株))		11.火災	異音に気付く確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。(事故発生地:兵庫県)		事故原因は、コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクタ接続部において、部品メーカーにより特定期間内に製造したコネクタがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱膨張及び振動により、メッキが削がれてコネクタ部分が接触不良となり発熱した。その影響によりコントローラー基板の上のんだ付け部に、はんだクラックが生じ絶縁不良となり、異音間でスパーク、焼損したものと考えられる。	---	東陶機器株式会社(現TOTO株式会社)は、当該製品を含む対象機種について、製品内部の一部接続部で接触不良が発生し、プラスチック製タンクの一部から発煙・出火に至るおそれがあることから、平成19年4月16日にホームページへ情報を掲載するとともに、翌7日に新聞記者を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・改修を実施している。	経済産業省 重大製品事故(2013-0638)	2013/06/05	01	家庭用電気製品	
A201300015	2013/03/28	温水洗浄便座	CH7251NF	松下電工(株)(現パナソニック(株))		11.火災	当該製品を焼損する火災が発生した。(事故発生地:和歌山県)		調査の結果、当該製品は、長期使用(20年以上)により本体と便座間に接続された中継コードに腐食が繰り返されたため、コード内の電力線の1本の断線、スパークし、中継コードの一部が焼損したものと推定される。	---	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省 重大製品事故(2013-0125)	2013/04/05	01	家庭用電気製品	
A201200806	2013/01/07	昇降便座				2.重傷	浴室で使用者が当該製品に着座したところ、バランスを崩して転倒し、負傷した。(事故発生地:石川県)		○当該製品の便座(ABS樹脂製)がヒンジ付近で破断しており、破断の起点は便座表面であった。○材料分析を行った結果、便座樹脂の表面のみが硬化していたものの、便座表面に微細なクラック等は認められなかった。○便座の材料強度に異常は認められなかった。○破断にボイド(空洞)や異物など成形上の不具合は認められなかった。●当該製品の強度等に異常は認められないことから、当該製品の便座に所からの過大な荷重が加わったことにより、便座ヒンジ付近の表面にクラックが生じ、使用に伴う荷重や衝撃などにより伸張し、破断に至ったものと推定される。	P2	経済産業省 非重大製品事故(2012-2630)	2013/01/21	01	家庭用電気製品		
A201200776	2013/01/01	温水洗浄便座	TCF970	東陶機器株式会社(現TOTO株式会社)		11.火災	異音に気付く確認すると、当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生していた。(事故発生地:茨城県)		事故原因は、コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクタ接続部において、部品メーカーにより特定期間内に製造したコネクタがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱膨張及び振動により、メッキが削がれてコネクタ部分が接触不良となり発熱した。その影響によりコントローラー基板の上のんだ付け部に、はんだクラックが生じ絶縁不良となり、異音間でスパーク、焼損したものと考えられる。	---	東陶機器株式会社(現TOTO株式会社)は、当該製品を含む対象機種について、製品内部の一部接続部で接触不良が発生し、プラスチック製タンクの一部から発煙・出火に至るおそれがあることから、平成19年4月16日にホームページへ情報を掲載するとともに、翌7日に新聞記者を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・改修を実施している。	経済産業省 重大製品事故(2012-2569)	2013/01/15	01	家庭用電気製品	
A201200745	2012/12/23	温水洗浄便座				11.火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。(事故発生地:福島県)		○電源プラグに爪が見られる片方の刃が焼損していたが、どちらの刃にも異常は認められなかった。○焼損している刃は一度は座っている箇所があり、その近傍に溶融痕が認められた。○電源プラグ内の刃と電源コードの接続部に異常は認められなかった。○電源コードの取り付け位置がずれが生じており、コンセント上への凸部が露出していた。○当該製品の外部に黄色や変形の異常は認められなかった。●当該製品は、コンセントの受け刃と電源プラグの刃との間にさびや組み込み等の接触不良が発生し、接触抵抗が増大してスパークが発生したことにより火災に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	P2	経済産業省 非重大製品事故(2012-2475)	2012/12/28	01	家庭用電気製品		
A201200642	2012/11/20	温水洗浄便座	TCF850RNB2	TOTO株式会社		11.火災	当該製品を焼損する火災が発生した。(事故発生地:福岡県)		○火災現場となったトイレには、他に出火元は確認されなかった。○タンク上部の手洗い用水栓から水を溢れさせて便座等を濡らしていたため、事故発生前から調子が悪かったとの証言がある。○便座は、便座コード取り込み部付近の機構が壊れ、便座プロテクター内部の配線に溶融痕が認められたが、溶融痕解析の結果、二次発火であると推定される。○便座内部に水が入り込んだ場合を想定した再試験を行った結果、ヒートシールドの異常は認められなかった。●当該製品のヒーター線及び内部配線等に過熱・発火した痕跡が認められず、再現試験でも異常は発生しなかったが、出火元は他になく、事故発生前から当該製品に不具合が生じていた原因は不明であり、製品起因が否かも含め、事故原因の特定には至らなかった。	---	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省 重大製品事故(2012-2187)	2012/11/30	01	家庭用電気製品	
A201200547	2012/10/16	温水洗浄便座	CW-K31(株)INAX(現(株)LIXIL)ブランド)	アイシン機構(株)(株)INAX(現(株)LIXIL)ブランド)		11.火災	飲食店で異音に気付く確認すると、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生していた。(事故発生地:北海道)		調査の結果、○当該製品を最後に使用してから約2時間半後に、当該製品側面にある操作部と周辺が焼損していた。○操作部の樹脂製部は、上方の樹脂製部品が焼失し、それに伴って樹脂製部品が焼損していた。○樹脂製部品は、上方の樹脂製部品が焼失した箇所が著しく変形し、樹脂製部品のタンクの一部分が焼失し、溶融痕が認められた。また、当該箇所を覆っていたポッティング材が焼損していた。●当該製品の樹脂製の蓋の再利用用部品付近から発火した可能性も考えられるが、外部の焼損も著しく、外部からの延焼の可能性も考えられることから、製品起因が否かも含め、原因の特定には至らなかった。	---	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省 重大製品事故(2012-1780)	2012/10/26	01	家庭用電気製品	

年度番号	事故発生日	品名	型式機種	製造・輸入・販売業者	法人番号	被害の種類	事故通知内容	品の使用期	事故原因	事故原因区分	再発防止措置	事故通知者 1	事故受付日	品目分類コード	品目	備考	
A201200515	2012/09/29	温水洗浄便座				11.火災	異臭に気づき確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。(事故発生日:北海道)		○当該製品の便座の裏板は中央部で著しく焼損して、穴が開いていた。○便座後部中央の内蔵部のヒーター線が断線し、先端部が先回りしていたが、ヒーター線の断線部と便座裏板の穴間き位置は一致していなかった。○同等品の便座後部中央の裏面に着火する実験を行った結果、当該製品と焼損状態が異なっていた。○同等品の便座後部中央のメタル先端部に着火する実験を行った結果、当該製品と類似した焼損状態を再現することができた。●当該製品の使用状況が不明なことから、事故原因の特定には至らなかったが、当該製品に着火の痕跡が認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。	F2		経済産業省 非重大製品事故(2012-1518)	2012/10/15	01	家庭用電気製品		
A201200500	2012/07/27	温水洗浄便座				2.遺失	当該製品に着座していたところ、臀部に火傷を負った。(事故発生日:石川県)		○当該製品のヒーターに、乾りむら、断線などの異常は認められなかった。○当該製品の便座温度設定を「高」として、便座温度を測定したところ、異常な高温度は認められなかった。○当該製品に便座温度の異常上昇のエラー履歴はなかった。●詳細な使用状況等が不明のため、事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の便座温度に異常は認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。なお、当該製品の便座温度設定及び取扱説明書には、「長時間使用する時は、便座温度を「切」にする。お年寄りなどが使用される場合は、周知の方が便座温度を「切」にする。」旨、記載されている。	F2		経済産業省 非重大製品事故(2012-1615)	2012/10/09	01	家庭用電気製品		
A201200418	2012/08/29	温水洗浄便座				11.火災	火災が発生し、現場に当該製品があった。(事故発生日:大阪府)		○当該製品の外部樹脂は著しく焼損しているものの、温水タンク、制御基板等の各品目から着火の痕跡は認められなかった。○便座ヒーターは一部回収のため確認されなかったが、ヒーター線の断線部に溶融痕等の異常は認められなかった。○事故品内蔵部に焼損した痕跡が複数確認された。●当該製品の使用状況が不明なことから、事故原因の特定には至らなかったが、当該製品に着火の痕跡が認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。	F2		経済産業省 非重大製品事故(2012-1344)	2012/09/10	01	家庭用電気製品		
A201200401	2012/08/11	暖房便座				2.遺失	当該製品を使用したところ、臀部に火傷を負った。(事故発生日:兵庫県)		○当該製品は、約15年間特別養護老人ホームの共用トイレで使用されていた。○温度調節つまみが「高」の設定であった。○当該製品の便座の温度は最高で約38℃に達していた。○便座本体及び便座部に電撃が発生し、電源コードコネクタ周辺部の樹脂の塗層部が割れていた。○サーモスターリード線、ヒーター線が引っかけられ、サーモスターが便座本体から外れていた。○サーモスターリード線を正確な位置に戻すと、便座温度が41℃になり異常な温度であった。○便座の材質はABS樹脂であり、付着物はpH1程度の強いアルカリ反応を示した。●詳細な使用状況が不明なため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品本体の電源コードコネクタ周辺部の塗層部が割れた状態で使用されていたため、電源コードに外力が加わった際、コードコネクタ部分が外れて内部配線が露出したことによりサーモスターが固定部から外れ、ヒーターの温度制御が機能となって便座の温度が高くなり、事故に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	F2		経済産業省 非重大製品事故(2012-1340)	2012/09/03	01	家庭用電気製品		
A201200133	2012/04/30	温水洗浄便座	CW-531(株式会社INAXブランド)	アイシン機軸株式会社(株式会社INAXブランド)		11.火災	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。		事故の原因は、製造から長期経過したことにより、便座電気コードが断線、発熱し、着火に至ったものと考えられる。	-		アイシン機軸株式会社は、当該製品を含む対象機種について、同社が直接販売した製品については、平成20年11月26日プレスリリースを行い、平成20年12月3日に新聞広告を掲載し、使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施している。また、販売事業者である株式会社INAX(現株式会社LIXIL)において、平成20年11月26日にプレス発表を行い、平成20年11月27日に新聞広告を掲載し、長期使用されている対象製品の使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施している。なお、不具合確認作業にて不具合が確認された場合は、事故防止のため温水洗浄便座としての使用を止めるようお願いしている。	経済産業省 重大製品事故(2012-0413)	2012/05/16	01	家庭用電気製品	
A201100738	2011/12/11	温水洗浄便座	TCF975	東陶機器株式会社(現TOTO株式会社)		11.火災	当該製品が焼損する火災が発生した。(事故発生日:福岡県)		調査の結果、コントローラー基板の温水ヒーター用コネクタ部分のボタン(図略)やAC100Vのターゲが脱落しており、社会現象と一致していた。事故原因は、コントローラー基板の温水ヒーター用コネクタ接続部において、部品メーカーが特定期間内に製造したコネクタがメッキ不良を発生し、製造であったため、使用時の発熱及び腐食によりメッキが剥がれてコネクタ部分が接触不良となり発熱した。その影響によりコントローラー基板のほんだけ付部に、ほんだけクラックが生じ、絶縁不良となり、異音間でスパーク、発火したものと考えられる。	-		東陶機器株式会社(現TOTO株式会社)は、当該製品を含む対象機種について、製品内部の一部接続部で接触不良が発生し、プラスチック製タンクの一部分が発熱・着火に至るおそれがあることから、平成19年4月16日にホームページで情報を掲載するとともに、翌17日に新聞社を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・改修を実施している。	経済産業省 重大製品事故(2011-3546)	2011/12/21	01	家庭用電気製品	
A201100365	2011/08/14	温水洗浄便座	TCF401	東陶機器株式会社(現TOTO株式会社)		11.火災	当該製品が焼損し、周辺が汚損する火災が発生した。(事故発生日:群馬県)		事故原因は、当該製品の長期使用(約29年)により、メッキ用(キヤムブレーカー)からの漏水が生じた状態で使用を継続したことにより、温水(メッキ用スニップ)の電解質が熱劣化して異常発熱が生じたと考えられる。	-		温水洗浄便座協議会(温水洗浄便座を製造・販売する企業で構成。)にて発行する「重大製品事故防止のためお願い」のチラシの配布など、「故障したまま使い続けたい」よう、消費者に安全特発の注意喚起活動を実施している。	経済産業省 重大製品事故(2011-1888)	2011/08/24	01	家庭用電気製品	
A201100087	2011/04/20	温水洗浄便座	シャワートイレF10	アイシン機軸(株)(株)INAX(現LIXIL)ブランド)		11.火災	当該製品を焼損する火災が発生した。(事故発生日:北海道)		調査の結果、製品本体内部の電気部品(温水ヒーターリレー)が焼損していた。この温水ヒーターリレーを繋ぐ配線ケースが割れており、内部の配線が露出して発熱し、溶融が認められた。また、温水ヒーターリレーの上部に設置する温水タンク外部のサーモスター用排水口に、水逆の高熱汚濁物とみられる付着物が堆積していた。以上のことから、当該製品の温水ヒーターリレーケースが何らかの原因で割れたこと、長期の使用(約25年)により、温水タンクの排水溝が詰まり、溢れた水がケースの割れ目から温水ヒーターリレーにかけ、そのために断線・発熱し、事故に至ったものと考えられる。なお、リレーケースの割れは、製造時に生じた可能性又は樹脂の経年劣化の可能性が考えられるが、特定には至らなかった。	-		引継ぎと同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省 重大製品事故(2011-0396)	2011/04/28	01	家庭用電気製品	
A201001040	2011/01/30	暖房便座				2.遺失	市設内で入浴者が当該製品を使用中、低温火傷を負った。(事故発生日:広島県)		○入浴者は、当該製品の便座に30分座り、臀部に低温火傷を負った。○事故時の便座の温度調節つまみの位置は不明であったが、取扱説明では、つまみの「低」表示より少し高い所にマーカーを付けて管理していた。○当該製品の使用には、発熱の継続制御がなく、温度制御は異常は認められなかった。●当該製品には、異常は認められないことから、温度調節つまみの管理及び使用料の注意が不十分であったことから、低温火傷を負ったものと推定される。なお、便座温度表示には、長時間使用した場合に低温火傷の恐れがあるため、「年寄り、身体の不自由な方、温度感覚のない方は、温度調節を「低」又は「切」にして周知の方が十分注意を付けてください。」旨、記載されている。	E2		経済産業省 非重大製品事故(2010-4402)	2011/03/07	01	家庭用電気製品		

年度番号	事故発生日	品名	型式機種	製造・輸入・販売業者	法人番号	被害の種類	事故通知内容	品の使用状況	事故原因	事故原因区分	再発防止措置	事故通知者1	事故受付日	品目分類コード	品目	備考
A200800790	2008/10/08	温水洗浄便座	DV-216H	株式会社 I N A X		11.火災	当該製品の一部分が発熱、発煙し、本体カバーの一部が溶ける事故が発生した。(事故発生日:東京都)		事故原因は、温水洗浄水ポンプから水が漏れ、モーター部が積りたためにモーターが過熱し、洗浄機能使用時に乾燥部に過電流が流れるようになった際に、当該製品には温水洗浄水ポンプに過電流に対する保護装置(電圧ヒューズ)の取り付けられていなかったため、発熱、発煙に至ったものと推定される。	..	製造事業者である株式会社 I N A X は、今後も同様の事故が発生するおそれがあることから、平成20年12月16日プレス公表、ホームページでの告知を行い、平成20年12月7日に新聞記者を招いて記者発表を行うとともに、対象製品の撤換、無償修理を実施しています。	経済産業省 重大製品事故(2008-3434)	2008/11/07	01	家庭用電気製品	
A200800779	2008/10/19	暖房便座				11.火災	当該製品が焼損する火災が発生した。(事故発生日:大府府)		当該製品からの出水の噴射はなく、事故当時、便座ヒーター部は過熱していなかったことから、製品から出水した事故ではないと判断した。	F2		経済産業省 非重大製品事故(2008-3250)	2008/11/05	01	家庭用電気製品	
A200800617	2008/09/15	温水洗浄便座	CW-531 (I N A Xブランド)	アイシン精機株式会社		11.火災	トイレの窓から発煙しているのを見つけて、扉を開けたところ、当該製品から火が出た。		事故原因は、長期間使用されていた当該製品の電源コードが断線したことにより出水に至ったものであるが、後述電源コードが断線した原因については特定されていない。	..	事故に至った製品は18年以上の長期使用されていたものであり、使用が一般的ななどの不具合がある状態で使用を続けていて事故に至っています。製造事業者であるアイシン精機株式会社及び販売事業者である株式会社 I N A X は、事故の再発防止の観点から、平成20年11月26日プレス公表、平成20年11月27日(株) I N A X、平成20年12月3日(予定)アイシン精機(株)に新聞への広告を掲載して、長期使用されている対象製品の使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施しています。	経済産業省 重大製品事故(2008-2759)	2008/09/17	01	家庭用電気製品	
A200800560	2008/08/25	温水洗浄便座				11.火災	和室奥面にアタッチメントを付けて当該製品が設置されていたトイレから出水する火災が発生した。(事故発生日:沖縄県)		調査の結果、当該製品の便座シートとアタッチメントの間に電源コードが挟まれた状態で使用されていたため、電源コードが損傷し、断線、ショートして発火したものと判断した。	E3		経済産業省 非重大製品事故(2008-2375)	2008/09/01	01	家庭用電気製品	
A200800395	2008/07/09	温水洗浄便座	HC-200C	株式会社日立ハウステック(株)株式会社ハウステック)		11.火災	家人がトイレから発火しているのに気づき、消火した。当該製品の一部分が焼損し、トイレ内が汚損した。(事故発生日:愛知県)		事故原因は、当該製品のヒーター線の端子のはんだ付け部が、長期間(18年間)使用されている間に、はんだ割れおこし、出水に至ったものと考えられる。	..	引き続き同様の事故発生に注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省 重大製品事故(2008-1568)	2008/07/16	01	家庭用電気製品	
A200800320	2008/06/21	温水洗浄便座	CW-531 (株) I N A Xブランド)	アイシン精機株式会社		11.火災	トイレの扉を開けたところ、トイレ内が煤で真っ黒になっており、当該製品の一部分が焼損していた。		事故原因は、長期間使用されていた当該製品の電源コードが断線したことにより出水に至ったものであるが、後述電源コードが断線した原因については特定されていない。	..	事故に至った製品は18年以上の長期使用されていたものであり、使用が一般的ななどの不具合がある状態で使用を続けていて事故に至っています。製造事業者であるアイシン精機株式会社及び販売事業者である株式会社 I N A X は、事故の再発防止の観点から、平成20年11月26日プレス公表、平成20年11月27日(株) I N A X、平成20年12月3日(予定)アイシン精機(株)に新聞への広告を掲載して、長期使用されている対象製品の使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施しています。	経済産業省 重大製品事故(2008-1285)	2008/06/25	01	家庭用電気製品	
A200800280	2008/03/24	電気便座				2.重傷	当該製品を使用中に低温火傷を負った。(事故発生日:岩手県)		調査の結果、当該製品に異常は認められなかった。使用者が当該製品を使用中に電源を失い長時間接触していたため、低温火傷を負ったものと判断した。	F2		経済産業省 非重大製品事故(2008-0667)	2008/06/13	01	家庭用電気製品	
A200800230	2008/05/30	温水洗浄便座	D L - 1 5 3	松下電器産業株式会社(株)パナソニック株式会社)		11.火災	トイレに行くとき当該製品の本体後輪部の前面が飛び、トイレ内が煤けていた。(事故発生日:宮崎県)		調査の結果、内部部品に洗剤や尿が付着し、トラッキングが発生したものと判断された。事故品は一部破損している部分があるが、残存する外観ケースには原因が及び割れ等確認されなかった。また、同等品による再現試験(注水試験)でも水の浸入はみられなかったため、外観ケース内に洗剤や尿が浸入した原因の特定には至らなかった。	..	原因の特定には至らなかったため、引き続き同様の事故発生について注視し、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省 重大製品事故(2008-0993)	2008/06/04	01	家庭用電気製品	
A200800221	2008/04/27	暖房便座				2.重傷	当該製品を使用していたところ、穴ももに火傷を負った。(事故発生日:高知県)		調査の結果、介護者は、短時間当該製品に接触していた部分を火傷したとしているが、製品の温度制御に異常は認められず、誤作動をすることもなかったことから、製品に起因する事故ではないと判断した。	F2		経済産業省 非重大製品事故(2008-0767)	2008/06/03	01	家庭用電気製品	
A200800213	2008/01/08	暖房便座	SW-3	西部ダイワ工業株式会社		11.火災	当該製品と周辺部の壁等が焼損した。(事故発生日:鹿児島県)		調査の結果、当該製品の回収された部品から発火の痕跡は認められないものの、焼失している部品があり、出水及び原因の特定には至らなかった。	..	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省 重大製品事故(2008-0937)	2008/05/30	01	家庭用電気製品	
A200800136	2008/04/26	温水洗浄便座	シャワートイレH1 (株) I N A Xブランド)	アイシン精機株式会社		11.火災	トイレより発火しているのを発見し消火した。本体の一部及び長尺ケーブルが焼損した。		事故原因は、便座ヒンジ部が断線した状態で使用したために、便座電気コード取り付け部に負荷が加わったことにより、便座電気コードが断線し、出水に至ったものと考えられる。	..	事故に至った製品は18年以上の長期使用されていたものであり、使用が一般的ななどの不具合がある状態で使用を続けていて事故に至っています。製造事業者であるアイシン精機株式会社及び販売事業者である株式会社 I N A X は、事故の再発防止の観点から、平成20年11月26日プレス公表、平成20年11月27日(株) I N A X、平成20年12月3日(予定)アイシン精機(株)に新聞への広告を掲載して、長期使用されている対象製品の使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施しています。	経済産業省 重大製品事故(2008-0600)	2008/05/07	01	家庭用電気製品	
A200800091	2008/04/16	温水洗浄便座				11.火災	ビルのトイレに設置された当該製品のプラグが焼損する火災が発生した。(事故発生日:東京都)		調査の結果、プラグの差し込みが十分でなく、コンセントとプラグ本体との間に隙間が空いている状態で、外部から何らかの伝導性の異物が隙間に入ったため、両プラグ間がショートしたものと判断した。	F2		経済産業省 非重大製品事故(2008-0623)	2008/04/25	01	家庭用電気製品	
A200800090	2008/04/15	温水洗浄便座				11.火災	当該製品が設置されていたトイレに行くとき便座が溶けており、操作部付近より発火した。(事故発生日:兵庫県)		調査の結果、長期間(22年間)の使用により当該製品の操作部表面シートに割れや割がれが生じ、洗浄剤等液体が浸入して洗浄機能が壊れた状態のまま、便座ヒーター機能を使用し続けていたため、液体がコネクタ部にかかり、トラッキングが発生したものと判断した。	E2		経済産業省 非重大製品事故(2008-0622)	2008/04/25	01	家庭用電気製品	
A200701031	2008/02/14	温水洗浄便座				11.火災	当該製品の電源プラグを差し込んだコンセント部周辺から発火したと思われる火災が発生した。(事故発生日:福島県)		調査の結果、当該製品の電源プラグとコンセント付近に水や洗剤液が付着したことによるトラッキング現象と判断した。	E2		経済産業省 非重大製品事故(2007-6568)	2008/02/22	01	家庭用電気製品	
A200700875	2008/01/11	温水洗浄便座	T C F 6 3 1	T O T O株式会社		11.火災	車の奥に気がついたらトイレを確認したら、当該製品が焼損していた。その間、家人が軽い火傷を負った。(事故発生日:熊本県)		調査の結果、当該製品が焼損が著しく、詳細な調査ができなかったため、出水元のプラグが、原因の特定には至らなかった。なお、同型式で同様な発火は起きていない。	..	これらで同一機種による類似事故の発火がないことから、引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省 重大製品事故(2007-5870)	2008/01/24	01	家庭用電気製品	
A200700650	2007/09/27	温水洗浄便座				11.火災	店舗に設置された当該製品が燃えているのを発見した。(事故発生日:秋田県)		調査の結果、製品内部からの発火の痕跡は認められなかった。	F2		経済産業省 非重大製品事故(2007-4706)	2007/11/27	01	家庭用電気製品	
A200700599	2007/11/06	温水洗浄便座	CW-C2F (株) I N A Xブランド)	アイシン精機株式会社		11.火災	家人が異常に気づき、トイレを見たところ発火していた。		事故原因は、便座使用でゴムが外れ、便座ヒンジ部が焼損したまま使用を継続したために便座電気コードが断線し、負荷が加わったことにより、便座電気コードが断線し、出水に至ったものと考えられる。	..	事故に至った製品は18年以上の長期使用されていたものであり、使用が一般的ななどの不具合がある状態で使用を続けていて事故に至っています。製造事業者であるアイシン精機株式会社及び販売事業者である株式会社 I N A X は、事故の再発防止の観点から、平成20年11月26日プレス公表、平成20年11月27日(株) I N A X、平成20年12月3日(予定)アイシン精機(株)に新聞への広告を掲載して、長期使用されている対象製品の使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施しています。	経済産業省 重大製品事故(2007-4438)	2007/11/13	01	家庭用電気製品	
A200700184	2007/06/15	温水洗浄便座	CW-531 (株式会社 I N A Xブランド)	アイシン精機株式会社		11.火災	トイレからの異常に気づき、家人がトイレを確認したところ、尿や便を見し、消火した。		事故原因は、長期間使用されていた当該製品の電源コードが断線したことにより出水に至ったものであるが、後述電源コードが断線した原因については特定されていない。	..	事故に至った製品は18年以上の長期使用されていたものであり、使用が一般的ななどの不具合がある状態で使用を続けていて事故に至っています。製造事業者であるアイシン精機株式会社及び販売事業者である株式会社 I N A X は、事故の再発防止の観点から、平成20年11月26日プレス公表、平成20年11月27日(株) I N A X、平成20年12月3日(予定)アイシン精機(株)に新聞への広告を掲載して、長期使用されている対象製品の使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施しています。	経済産業省 重大製品事故(2007-2120)	2007/06/25	01	家庭用電気製品	
2018-1270	2018/07/18	暖房便座【電気便座】				4.重大被害	暖房便座から発火し、周辺を焼損した。(事故発生日:奈良県)	不明	電源コードに溶融痕が認められたが、一次側か二次側か特定できず、焼損が著しく、全ての電気部品を破壊できなかったことから、原因の特定はできなかった。	G1	製造事業者等が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関	2018/11/08	01	家庭用電気製品	
2017-1923	2017/12/28	温水洗浄便座【OV-218 (株) I N A X (株) L I X I L】				5.製品破壊	使用中の温水洗浄便座から火が出た。(事故発生日:兵庫県)	初12年	温水ヒーターユニットに原因の経路不良がある不具合品が浸入したため、接触不良が生じて異常発熱し、焼損したものと推定される。	A3	製造事業者は、他に同種事故発生の情報はないことから、原因品に対する措置はとらなかった。なお、当該製品は既に生産を終了している。	製造事業者	2018/01/16	01	家庭用電気製品	

年度番号	事故発生日	品名	型式機種	製造・輸入・販売業者	法人番号	被害の種類	事故通知内容	品の使用期間	事故原因	事故原因区分	再発防止措置	事故通知者1	事故受付日	品目分類コード	品目	備考
2017-1399	2017/09/21	温水洗浄便座【TCF965L		東陶機器(株)(現:TOTO(株))		3.製品破損	温水洗浄便座から異臭が、発生した。(事故発生地:京都府)	約15年	温水洗浄便座のコントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクタがメッキ不良を起しやすい製品であったため、使用中の熱膨張及び振動によりメッキが削がれてコネクタ部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのほんだけ部で、ほんだけクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し熱膨張不良となり、異音間でスパーク・発火したものと推定される。	A2	製造事業者は、2007(平成19)年4月17日付けの新規及びホームページに社会を掲載すると共に、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにDMを送付し、無償で修理・点検を行っている。	消防機関	2017/10/17	01	家庭用電気製品	
2016-2375	2017/02/27	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥機式】【電気使用】				3.被害	温水洗浄便座付近から出火して、周辺を焼損し、家人1人が火傷を負った。(事故発生地:兵庫県)	約5年5月	事故品の電気部品に出火の原因は認められなかったから、製品に起因しない事故と推定される。	F2	製造事業者は、製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	消防機関	2017/03/10	01	家庭用電気製品	
2016-1455	2016/08/00	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥機式】【電気使用】				6.被害なし	ネット通販で購入した温水洗浄便座が漏れていた。(事故発生地:三重県)	約5年	事故品に漏れを起こす異音は認められず、電源プラグに付いた漏れ調査機器が作動した原因の特定はできなかった。	G1	製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。	消費者センター	2016/10/28	01	家庭用電気製品	
2016-1282	2016/09/08	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥機式】【電気使用】				3.被害	温水洗浄便座の温風乾燥機を使用したところ、臀部に火傷を負った。(事故発生地:神奈川県)	不明	温風乾燥機の温風熱によって火傷を負ったものと考えられるが、事故品は正常に動作し、温風温度に異常は認められず、事故当時の詳細な使用状況が不明であり、原因の特定はできなかった。	G1	製造事業者は、製品に起因しない事故とみているため、措置はとらなかった。	製造事業者	2016/10/05	01	家庭用電気製品	
2016-1015	2016/06/30	温水洗浄便座【TCF731		東陶機器(株)(現:TOTO(株))		3.製品破損	温水洗浄便座から異臭が、発生した。(事故発生地:広島県)	約17年10月	温水用穴端部から漏水したため、被水によりDC基板上の抵抗が異常発熱し、周辺の樹脂部品が炭化したものと推定されるが、漏水した原因の特定はできなかった。	G3	製造事業者は、拡大被害に至っていないことから、措置はとらなかった。なお、当該製品は既に生産を終了している。	その他	2016/08/22	01	家庭用電気製品	
2016-0784	2016/06/12	温水洗浄便座【AX505-E(2		日立化成工業(株)ランド:積水化学工業(株)		3.製品破損	温水洗浄便座から発熱した。(事故発生地:愛知県)	約15年9月	長期使用(約15年9か月)により、便座コードに屈曲ストレス等が加わって半断線が生じ、発熱・発煙したものと推定される。	C1	製造事業者は、他に同種事故発生の情報はないことから、措置はとらなかった。なお、当該製品は既に生産を終了している。	製造事業者	2016/07/19	01	家庭用電気製品	
2015-2618	2016/02/09	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥機式】【電気使用】				3.被害	温水洗浄便座付近から出火して、住宅1棟を全焼し、焼ける建物4棟を焼損して、家人1人が軽傷を負った。(事故発生地:愛知県)	約27年	確認できた電気部品に出火の原因は認められなかったが、焼損が著しく、電源基板等の確認できない部品もあることから、原因の特定はできなかった。	G1	製造事業者等が不明であるため、措置はとらなかった。	消防機関	2016/02/24	01	家庭用電気製品	
2015-0284	2015/03/31	暖房便座【電気使用】				3.被害	暖房便座を使用していたところ、低温火傷を負った。(事故発生地:石川県)	約15年9月	便座の表面温度に異常は認められず、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。	G1	製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。	製造事業者	2015/05/18	01	家庭用電気製品	
2014-2136	2013/12/30	暖房便座【電気】KA29-666		コナン商事(株)		3.製品破損	暖房便座の電源コードの本体付け根部分から火が出た。(事故発生地:和歌山県)	約7月	電源コードの絶縁被覆の絶縁性が低下したことから、短絡して発火したものと推定されるが、絶縁性が低下した原因の特定はできなかった。	G3	輸入事業者は、事故原因が不明であるが、2014(平成26)年5月19日付で電気用品安全法の遵守事項不適合があったため、製品の自主回収を行っている。	輸入事業者	2014/12/26	01	家庭用電気製品	
2014-1775	2014/10/22	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥機式】【電気使用】				3.製品破損	温水洗浄便座から異臭が、発生した。(事故発生地:兵庫県)	不明	便座の上板と基板の溶着部に隙間が生じたため、尿が浸入して便座コード内部を経路し、コネクタ部の絶縁性が低下したことから、短絡して発熱したものと考えられるが、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。	G1	製造事業者は、被害者の誤った使用方法による事故とみているため、措置はとらなかった。	製造事業者	2014/11/14	01	家庭用電気製品	
2014-1329	2014/09/06	温水洗浄便座【CH6335		松下電工(株)(現:パナソニック(株))		3.被害	使用中の温水洗浄便座から熱湯が出て、幼児が火傷を負った。(事故発生地:埼玉県)	約14年	温水用ケーブルのコネクタ部で熱膨張が生じたため、温水ヒーターが絶縁被覆を破損し、保護装置(自動検知式の高温検知センサー)が作動した状態で、使用者が熱いと感じたまま使用を継続したことから、保護装置が故障して熱湯が放出し、火傷を負ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「洗浄シャワーが熱い等、故障したら使用を中止する、やけどの原因となる等」記載されていた。	B4	製造事業者は、他に同種事故発生の情報はないことから、措置はとらないが、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	消費者センター	2014/09/10	01	家庭用電気製品	
2014-0458	2014/05/04	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥機式】【電気使用】				4.拡大被害	温水洗浄便座から発熱し、電源プラグ付近が焼損した。(事故発生地:広島県)	約15年8月	プラグ及びコンセントに異常の異音が発生したため、調査してプラグ付近で刃受けの間に接触不良が生じ、異常発熱して樹脂部が焼損したものと推定される。なお、取扱説明書には、「本体や電源プラグ部に水や洗剤をかけない。火災や感電のおおそれがある。」と記載されている。	E2	製造事業者は、被害者の不注意による事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター	2014/05/22	01	家庭用電気製品	
2013-2612	2013/12/13	温水洗浄便座【電気温水器】【電気使用】				3.被害	使用中の温水洗浄便座から熱湯が出て、火傷を負った。	約1年7月	被害者の別の原因で熱湯などを出していた可能性があり、洗浄時に熱い水が出る温水により火傷を負ったと感じたものと考えられるが、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。	G1	輸入事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。	消費者センター	2014/01/06	01	家庭用電気製品	
2013-1935	2013/10/20	温水洗浄便座【OT-4512		(株)INAX(現:LIXIL)		3.製品破損	使用中の温水洗浄便座から異臭が、異臭が生じて発熱した。(事故発生地:埼玉県)	約10年	長期使用(約10年)により、ヒーターと温水タンクの底面合用バッキングが劣化したため、水が滲み出して温水タンク上部に水分が溜まり、樹脂基板上で腐食が生じたことから、電源基板上のコネクタ内部で絶縁性が低下して短絡し、コネクタ樹脂の一部が炭化して発熱したものと推定される。	C1	製造事業者は、事故原因は不明とされており、他に同種事故発生の情報はないことから、措置はとらないが、今後の事故発生状況を注視することとした。	消費者センター	2013/10/25	01	家庭用電気製品	
2013-1727	2008/02/04	温水洗浄便座【TCF741		東陶機器(株)(現:TOTO(株))		4.拡大被害	温水洗浄便座の熱交換機に亀裂が入って漏水し、漏電した。	約10年	漏電・停電の原因は、事故品の調査を行なったことから、特定できなかったが、温水タンクに亀裂が入ったため、漏水して電気部品が故障したものと推定される。	G3	製造事業者は、発火に至っていないことから、措置はとらなかった。なお、当該製品は既に生産を終了している。NITEは、引き続き同様の事故発生状況に注視し、必要に応じて対応することとした。	国の行政機関	2013/10/04	01	家庭用電気製品	
2012-2639	2012/12/14	温水洗浄便座【電気温水器】【電気使用】				4.拡大被害	温水洗浄便座付近から発熱し、出火した。	約1年	事故品のノズル流量ユニット付近から出火したものと考えられるが、事故発生状況が不明であり、原因の特定はできなかった。	G1	製造事業者は、製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター	2013/01/28	01	家庭用電気製品	
2012-1321	2012/08/08	温水洗浄便座【TCF741#5		東陶機器(株)(現:TOTO(株))		3.製品破損	温水洗浄便座から臭いが臭いが、本体前面が熱くなった。(事故発生地:群馬県)	約15年	DC電源基板上のモーター制御用ICが異常発熱し、基板とポッティング剤が炭化して異臭が生じたものと推定される。ICが異常発熱した原因の特定はできなかった。	G3	製造事業者は、拡大被害に至っていないことから、措置はとらなかった。NITEは、引き続き同様の事故発生状況に注視し、必要に応じて対応することとした。	製造事業者	2012/09/06	01	家庭用電気製品	
2012-0296	2012/04/21	温水洗浄便座【TCF970		東陶機器(株)(現:TOTO(株))		4.拡大被害	温水洗浄便座が焼損し、壁を汚損したほか雨下へも漏水した。	約12年	温水洗浄便座のコントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクタがメッキ不良を起しやすい製品であったため、使用中の熱膨張及び振動によりメッキが削がれてコネクタ部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのほんだけ部で、ほんだけクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し熱膨張不良となり、異音間でスパーク・発火したものと推定される。	A2	製造事業者は、2007(平成19)年4月17日付けの新規及びホームページに社会を掲載すると共に、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにDMを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2012/05/08	01	家庭用電気製品	
2012-0255	2012/03/19	温水洗浄便座【CW-530(グ		アイシン精機(株)		3.製品破損	温水洗浄便座の一部が焼損した。	約20年	長期使用(約20年)により、便座電気コードの被覆の劣化と、便座の閉閉による屈曲により、便座電気コードの芯線の断線するとともに被覆が損傷し、損傷箇所から尿や洗剤等が浸入してトラッキングが発生し、出火に至ったものと推定される。	C1	製造事業者及びブランド事業者は、2008(平成20)年11月26日付けホームページ、同年11月27日(ブランド事業者)及び同年12月3日(製造事業者)に新製品社会を掲載するとともに、DMを送付し長期使用されている対象製品の使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施している。なお、温水洗浄便座協議会では、2008(平成20)年11月17日付け新聞に事故防止のための告知を掲載するとともに、パンフレットを作成し、注意喚起を行っている。	製造事業者	2012/04/26	01	家庭用電気製品	
2011-3952	2012/01/20	温水洗浄便座【TCF740		東陶機器(株)(現:TOTO(株))		3.製品破損	トイレから異臭がしたため確認したところ、温水洗浄便座の内部が発熱していた。	約15年	DC電源回路の電子部品(三端子レギュレーター)にはほんだけ不良があったため、ほんだけクラックが発生し、別の電子部品(洗浄モーター制御用IC)が過電圧状態となって異常発熱し、周辺の樹脂部品が炭化したものと推定される。なお、被害者は、入浴時から暖房便座、洗浄機能は動作しないことを認識していたが、過電圧を継続していた使用も被害に至った原因と考えられる。	B2	製造事業者は、拡大被害に至っていないことから、措置はとらなかった。NITEは、引き続き同様の事故発生状況に注視し、必要に応じて対応することとした。	製造事業者	2012/02/03	01	家庭用電気製品	
2011-3014	2011/10/31	温水洗浄便座【TCF441		東陶機器(株)(現:TOTO(株))		3.製品破損	温水洗浄便座から臭いが臭いが、一部の部品が溶融した。	約21年	長期使用(約21年)により、制御基板の上半部ヒューズ内部のコンデンサが絶縁被覆し、内部の抵抗に過電圧が印加して異常発熱したため、半導体ヒューズ外部樹脂が溶融し、炭化臭いが臭いがしたものと推定される。	C1	製造事業者は、温水洗浄便座及び温水洗浄便座の安全装置が作動し終息していることから、措置はとらなかった。NITEは、引き続き同様の事故発生状況に注視し、必要に応じて対応することとした。	製造事業者	2011/11/21	01	家庭用電気製品	
2011-2915	2011/11/02	暖房便座【電気】CH873		松下電工(株):パナソニック(株)		3.製品破損	暖房便座とタンクの一部が焼損した。	約27年	長期使用(27年)により、便座コードが屈曲ストレス等により半断線を生じ、発熱・発火したものと推定される。	C1	製造事業者は、他に同種事故発生の情報はないことから、措置はとらなかった。NITEは、引き続き同様の事故発生状況に注視し、必要に応じて対応することとした。	消防機関	2011/11/08	01	家庭用電気製品	

年度番号	事故発生日	品名	型式機種	製造・輸入・販売業者	法人番号	被害の種類	事故通知内容	品の使用期間	事故原因	事故原因区分	再発防止措置	事故通知者 1	事故受付日	品目分類コード	品目	備考
2011-2783	2011/10/11	温水洗浄便座	CW-530 (ブランド: (株) INAX)	アイシン精機 (株)		3.軽傷	温水洗浄便座付近から出火し、便座と周辺を焼損した。	約20年	長期使用 (約20年) により、便座電気コードの被覆の劣化と、便座の間隙による屈曲により、便座電気コードの芯線が断線するとともに被覆が剥離し、換気箇所内尿や洗浄水が浸入してトラッキングが発生し、出火に至ったものと推定される。	C1	製造事業者及びブランド事業者は、2008 (平成20) 年11月26日付けホームページ、同年11月27日 (ブランド事業者) 及び同年12月3日 (製造事業者) に新製品を掲載するとともに、DMを送付し長期使用されている対象製品の使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について当該取組作業を実施している。なお、温水洗浄便座出荷時では、2008 (平成20) 年11月17日付け新聞に掲載された予告を掲載するとともに、パンフレットを作成し、注意喚起を行っている。	製造事業者	2011/10/21	01	家庭用電気製品	
2011-2370	2011/09/02	温水洗浄便座	TCF970L	東陶機器 (株) (現在: TOTO (株))		5.製品破損	温水洗浄便座付近から発煙した。	約15年	温水洗浄便座のコントローラー基板上の温水ヒーター用コネクタ-接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクタがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが削がれてコネクタ部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し発熱不良となり、異音発生・異音発生・火花・発熱したものと推定される。	A2	製造事業者は、2007 (平成19) 年4月17日付けの新聞及びホームページに社会を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにDMを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2011/09/15	01	家庭用電気製品	
2011-0961	2011/06/08	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】				5.製品破損	温水洗浄便座の電源プラグ付近のコードから出火した。	約14年3か月	電源プラグ側のコードがプロテクター付近に屈曲や引っ張りなどのストレスが繰り返し加わり、芯線が断線して火花が生じたものと考えられるが、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。	G1	製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。	消防機関	2011/07/08	01	家庭用電気製品	
2010-2884	2010/05/29	温水洗浄便座	CW-RH1	アイシン精機 (株)		5.製品破損	使用中の温水洗浄便座から異臭し、発煙した。	約7年	メッキ基板の電気コネクタ部にはんだ付け不良があったため、はんだ付けにクラックが生じ、火花が発生し発熱したものと推定される。	A2	他に同種事故発生情報はなく、拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	消費者センター	2010/10/26	01	家庭用電気製品	
2010-2587	2010/08/00	温水洗浄便座	SX TCF341	TOTO (株)		4.拡大被害	温水洗浄便座の操作ボタンが液体が漏れ出し、床面を汚損した。	約20年	操作部内の基板に塗布された防水用ボンディング材 (ポリウレタン樹脂製) が長期使用 (20年) により劣化・加水分解し、液状化して操作ボタンが漏れ出したものと推定される。	C1	経年劣化による事故とみられ、他に同種事故発生情報はなく、措置はとらなかった。	消費者センター	2010/09/22	01	家庭用電気製品	
2010-1146	2010/06/20	便器 (便座)				3.軽傷	便器を使用中、突然便座が外れ落ち、右肩に打撲を負った。	約4月	事故品はインターネット通販により購入したもので、取付金具が固定用ネジ穴付近で破損しており、ネジを締め付けすぎた重鎮がもたらしたことから、被害者が事故品を使用者に交付する際に、ネジを締めすぎたため取付金具に亀裂が生じ、使用中に破断したものと推定される。	E3	被害者の設置・施工不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター	2010/06/22	04	家具・住宅用品	
2009-4210	2010/03/12	温水洗浄便座	CH622S	松下電工 (株) (現在: パナソニック電工 (株))		5.製品破損	温水洗浄便座から異臭し、接続コードが焦げた。	不明	高圧使用 (13年以上) により、便座コードに使用期間による機械的ストレス及び尿やトイレ用洗剤による化学的劣化が加わり、便座コードのヒーター線が断線し、接続不良により異常発熱し発煙し発熱したものと推定される。	C1	他に同種事故発生情報はなく、安全装置 (電気ヒューズ) が作動し検知していることから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター	2010/03/17	01	家庭用電気製品	
2009-3323	2010/01/17	温水洗浄便座	H1 (ブランド: (株) INAX)	アイシン精機 (株)		4.拡大被害	温水洗浄便座が溶融・焼損し、陶器製の洗浄用タンクが破損した。	約21年6か月	長期使用 (約21年) により、便座の間隙による屈曲により便座電気コードの芯線が断線するとともに熱線被覆が剥離し、尿や洗剤等が付着し、トラッキングが発生して出火に至ったものと推定される。	C1	2008 (平成20) 年11月26日付けホームページに告知を掲載するとともに、同年11月27日付け新聞に社会を掲載し、DMを送付し注意喚起を行い、無償で対象製品の不良品交換を実施している。なお、温水洗浄便座出荷時では、2008 (平成20) 年11月17日付け新聞に掲載された予告を掲載するとともに、パンフレットを作成し、注意喚起を行っている。	製造事業者	2010/01/28	01	家庭用電気製品	
2009-2878	2009/12/14	温水洗浄便座	TCF975	東陶機器株式会社 (現在: TOTO (株))		5.製品破損	温水洗浄便座の一部が変形、変色し、漏水した。	不明	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクタ-接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクタがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが削がれてコネクタ部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し発熱不良となり、異音発生・火花・発熱したものと推定される。	A2	2007 (平成19) 年4月17日付けの新聞及びホームページに社会を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにDMを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2010/01/05	01	家庭用電気製品	
2009-2517	2009/11/10	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】				3.軽傷	温水洗浄便座を使用したところ、低温火傷を負った。	約3年9か月	当該品の使用し低温火傷を負った原因の特定はできなかった。	G1	事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。	製造事業者	2009/12/04	01	家庭用電気製品	
2009-2411	2009/10/30	温水洗浄便座	TCF970	東陶機器 (株)		5.製品破損	温水洗浄便座を使用中、タンク下方から発煙した。	不明	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクタ-接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクタがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが削がれてコネクタ部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し発熱不良となり、異音発生・火花・発熱したものと推定される。	A2	2007 (平成19) 年4月17日付けの新聞及びホームページに社会を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにDMを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2009/11/26	01	家庭用電気製品	
2009-1809	2009/08/03	温水洗浄便座	フォッシュレットG TCF741	TOTO (株)		3.軽傷	温水洗浄便座から水漏れしていたが、使用できたのでそのまま使用していたところ、燃焼が広がる異臭し、気が悪くなり嘔吐した。	約10年	温水タンクに電気が入ったため、漏水により基板にある電圧制御ICの端子間でショートし、抵抗に過電流が流れて異常発熱し、基板をコーティングしている防湿材が溶融したものと考えられるが、温水タンクに電気が入った原因の特定はできなかった。	G3	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター	2009/10/22	01	家庭用電気製品	
2009-1437	2009/08/09	温水洗浄便座	OV-215	(株) INAX		5.製品破損	温水洗浄便座の内部基板が発熱し、外部カバーにへこみが見えた。	約5年	洗浄用ポンプのバッキンに異物が噛み込み等により漏水が発生し、ポンプモーターが腐食し異音した際に、制御基板にモーターの過電流が流れたが、安全装置 (温度ヒューズ) が付いていなかったため、電動モーターが異常発熱し、部分的に焦げたものと推定される。	A1	2008 (平成20) 年12月17日付けの新聞及びホームページに社会を掲載し、無償で点検・修理を行っている。なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者	2009/08/28	01	家庭用電気製品	
2009-1271	2008/00/00	温水洗浄便座	TCF741	TOTO (株)		5.製品破損	温水洗浄便座から異臭し、気が悪くなった。	約10年	温水タンク部で漏水が生じたため、漏水により基板にある電圧制御ICの端子間でショートし、抵抗に過電流が流れて異常発熱し、基板をコーティングしている防湿材が溶融したものと考えられるが、温水タンク部で漏水した原因の特定はできなかった。	G3	拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター	2009/08/06	01	家庭用電気製品	
2009-1215	2009/06/14	温水洗浄便座	フォッシュレットG TCF740	TOTO (株)		5.製品破損	温水洗浄便座の左側から漏水した後、本体から発煙した。	約10年	温水タンクに電気が入ったため、漏水により基板にある電圧制御ICの端子間でショートし、抵抗に過電流が流れて異常発熱し、基板をコーティングしている防湿材が溶融したものと考えられるが、温水タンクに電気が入った原因の特定はできなかった。	G3	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者	2009/07/29	01	家庭用電気製品	
2009-0930	2009/05/11	温水洗浄便座	TCF975L	東陶機器 (株) (現在: TOTO (株))		5.製品破損	温水洗浄便座から異臭し、気が悪くなった。	約9年	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクタ-接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクタがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが削がれてコネクタ部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し発熱不良となり、異音発生・火花・発熱したものと推定される。	A2	2007 (平成19) 年4月17日付けの新聞及びホームページに社会を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにDMを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2009/07/02	01	家庭用電気製品	
2009-0345	2009/01/07	温水洗浄便座	TCF970L	東陶機器 (株)		5.製品破損	温水洗浄便座の外側の一部が変形、変色した。	不明	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクタ-接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクタがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが削がれてコネクタ部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し発熱不良となり、異音発生・火花・発熱したものと推定される。	A2	2007 (平成19) 年4月17日付けの新聞及びホームページに社会を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにDMを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2009/04/30	01	家庭用電気製品	
2009-0344	2008/11/10	温水洗浄便座	TCF975L	東陶機器 (株)		5.製品破損	温水洗浄便座から異臭し、発煙し、機器内部の一部が変形、変色した。	不明	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクタ-接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクタがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが削がれてコネクタ部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し発熱不良となり、異音発生・火花・発熱したものと推定される。	A2	2007 (平成19) 年4月17日付けの新聞及びホームページに社会を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにDMを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2009/04/30	01	家庭用電気製品	

年度番号	事故発生日	品名	型式機種	製造・輸入・販売業者	法人番号	被害の種類	事故通知内容	品の使用期間	事故原因	事故原因区分	再発防止措置	事故通知者 1	事故受付日	品目分類コード	品目	備考
2007-4237	2007/10/17	温水洗浄便座	TCF970 # S C1	東陶機器 (株)		3.製品破壊	暖房便座から臭いが出た。	約6年10月	コントロールベース上の温水ヒーター用コネクタ接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクタがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが削がれてコネクタ部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が酸化し絶縁不良となり、異音発生でスパーク・発火したものと推定される。	A2	平成19年4月17日付けの新規及びホームページに社会を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにDMを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2007/11/05	01	家庭用電気製品	
2007-3705	2007/09/11	温水洗浄便座	TCF975 L # S R2	東陶機器 (株)		3.製品破壊	温水洗浄便座から発煙した。	約5年	コントロールベース上の温水ヒーター用コネクタ接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクタがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが削がれてコネクタ部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が酸化し絶縁不良となり、異音発生でスパーク・発火したものと推定される。	A2	平成19年4月17日付けの新規及びホームページに社会を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにDMを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2007/10/09	01	家庭用電気製品	
2007-3635	2005/12/07	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥機式便座】	【電気便座】	4.5.木製書		4.5.木製書	温水洗浄便座が燃えて、小火になった。	約10年2月	暖房の中央部が焼損していることから、発火元の可能性が高いと考えられるが、発火元となる部品は特定できず、原因の特定はできなかった。	G1	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター	2007/10/02	01	家庭用電気製品	
2007-3400	2007/03/00	温水洗浄便座	TCF920 F # S C1	TOTO (株)		3.製品破壊	温水洗浄便座から臭臭がして、ブレーカーが落ちた。	約15年	高齢者用(約15年)により、コントロールベース上のスイッチング素子が熱ストレス等により内部短絡し、ブレーカーが作動するとともにスイッチング素子が発熱・発煙して臭臭が生じたものと推定される。	C1	経年変化による事故とみられ、異常時には安全装置により過電を遮断し、拡大被害に至る可能性が低いことから、措置はとられなかった。なお、当該品は既に廃品を完了している。	消費者センター	2007/09/12	01	家庭用電気製品	
2007-3181	2007/08/09	温水洗浄便座	TCF960 # S C1	東陶機器 (株)		3.製品破壊	温水洗浄便座から発煙した。	約7年5月	コントロールベース上の温水ヒーター用コネクタ接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクタがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが削がれてコネクタ部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が酸化し絶縁不良となり、異音発生でスパーク・発火したものと推定される。	A2	平成19年4月17日付けの新規及びホームページに社会を掲載し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2007/08/31	01	家庭用電気製品	
2007-2603	2007/07/21	暖房便座【電気便座】		6.被害なし		6.被害なし	電気便座を低温設定にして使用していたところ、便座が異常に熱くなった。	約7年	事故品の各設定温度で便座表面を確認したところ火傷が生じるような高温にはならず、内部の制御基板にも発熱した痕跡は確認されなかったことから、原因は特定できなかった。	G1	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター	2007/07/27	01	家庭用電気製品	
2007-2410	2007/06/15	温水洗浄便座	TCF970 L # S R2	東陶機器 (株)		3.製品破壊	温水洗浄便座から発煙した。	約5年	コントロールベース上の温水ヒーター用コネクタ接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクタがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが削がれてコネクタ部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が酸化し絶縁不良となり、異音発生でスパーク・発火したものと推定される。	A2	平成19年4月17日付けの新規及びホームページに社会を掲載し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2007/07/25	01	家庭用電気製品	
2007-2376	2007/06/18	温水洗浄便座【電気温水器】	【電気便座】	5.製品破壊		5.製品破壊	掃除のため温水洗浄便座の便座を上げたところ、便座と本体を接続する配線部分から「パチッ」と音が出て発煙した。	約19年	当該品の便座固定部(2箇所)の右側ヒンジピンが折れて抜け、左側便座固定部に使用者の着座時の力が集中し、固定部の便座コードが機械的ストレスを受けて断線・スパークし、発煙したものとみられるが、折れたヒンジピンは脱落しており、欠落時点についても不明であるため、原因の特定はできなかった。	G1	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター	2007/07/23	01	家庭用電気製品	
2007-2245	2007/06/26	温水洗浄便座【電気温水器】	【電気便座】	3.製品破壊		3.製品破壊	家に入った、臭いが出ているが、2階のトイレの温水洗浄便座のノズルの発煙が強く気づいた。	約5年	発煙部が電気部品等は内部から発火した痕跡は確認できなかったことから、原因の特定はできなかった。	G1	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター	2007/07/11	01	家庭用電気製品	
2007-1980	2007/05/14	温水洗浄便座	TCF970 L	東陶機器 (株)		3.製品破壊	電気便座付近から臭臭がするの、内部を確認したところ、発煙した形跡があった。	約5年	コントロールベース上の温水ヒーター用コネクタ接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクタがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが削がれてコネクタ部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が酸化し絶縁不良となり、異音発生でスパーク・発火したものと推定される。	A2	平成19年4月17日付けの新規及びホームページに社会を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにDMを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2007/06/25	01	家庭用電気製品	
2007-1949	2007/05/09	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥機式便座】	【電気便座】	3.製品破壊		3.製品破壊	洗浄すべき便座のノズルが割れていた。	約4年	ノズル及びその周辺部が焼損しており、焼損している箇所は火花により発生する電気回路がないことから、製品からの火花は発生しないものと推定される。	F2	製品に起因しない事故であったため、措置はとられなかった。	消費者センター	2007/06/22	01	家庭用電気製品	
2007-1560	2007/04/28	温水洗浄便座	TCF965	東陶機器 (株)		3.製品破壊	温水洗浄便座から発煙した。	約5年	コントロールベース上の温水ヒーター用コネクタ接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクタがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが削がれてコネクタ部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が酸化し絶縁不良となり、異音発生でスパーク・発火したものと推定される。	A2	平成19年4月17日付けの新規及びホームページに社会を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにDMを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2007/06/12	01	家庭用電気製品	
2007-1365	2007/04/00	温水洗浄便座	TCF471 # S C1	TOTO (株)		3.製品破壊	温水洗浄便座から煙が出た。	約13年	基板に取り付けられたヒューズ(リッド継ぎ足)のはんだ付近部のみ焼損していることから、はんだ付け不良のため、はんだクラックを生じて、接触不良となり異常発熱し発煙したものと推定される。	A2	発熱、発煙のみで終息しており、拡大被害に至っていないことから、今後の発生状況を監視することとし、措置はとられなかった。	消費者センター	2007/06/01	01	家庭用電気製品	
2007-0912	2007/03/01	温水洗浄便座	OV-215	(株) INAX		3.製品破壊	温水洗浄便座から臭臭がし、発煙した。	約2年8月	洗浄水ポンプのバックに異物が噛み込等により漏水が発生したため、ポンプモーターが過熱し発煙した際に、制御基板にモーターの過電流が流れて駆動素子が異常発熱し、部分的に焦げたものと推定される。	A2	拡大被害に至る可能性が低いことから、取扱品については措置はとれなかった。なお、今後は製造作業をクルールームで行うこととし、さらに異物混入が発生した場合に備えて、本体に安全装置(電源ヒューズ)を追加した。	製造事業者	2007/05/22	01	家庭用電気製品	
2007-0911	2007/02/14	温水洗浄便座	OV-215	(株) INAX		3.製品破壊	温水洗浄便座から発煙した。	約2年6月	洗浄水ポンプのバックに異物が噛み込等により漏水が発生したため、ポンプモーターが過熱し発煙した際に、制御基板にモーターの過電流が流れて駆動素子が異常発熱し、部分的に焦げたものと推定される。	A2	拡大被害に至る可能性が低いことから、取扱品については措置はとれなかった。なお、今後は製造作業をクルールームで行うこととし、さらに異物混入が発生した場合に備えて、本体に安全装置(電源ヒューズ)を追加した。	製造事業者	2007/05/22	01	家庭用電気製品	
2007-0910	2007/01/27	温水洗浄便座	OV-216	(株) INAX		3.製品破壊	温水洗浄便座から発煙し、本体が変形した。	約2年7月	洗浄水ポンプのバックに異物が噛み込等により漏水が発生したため、ポンプモーターが過熱し発煙した際に、制御基板にモーターの過電流が流れて駆動素子が異常発熱し、部分的に焦げたものと推定される。	A2	拡大被害に至る可能性が低いことから、取扱品については措置はとれなかった。なお、今後は製造作業をクルールームで行うこととし、さらに異物混入が発生した場合に備えて、本体に安全装置(電源ヒューズ)を追加した。	製造事業者	2007/05/22	01	家庭用電気製品	
2007-0909	2006/12/27	温水洗浄便座	OT-287	(株) INAX		3.製品破壊	温水洗浄便座から臭臭がし、本体の暖房暖房吹き出し口が溶融した。	約2年7月	暖房暖房用のファンが詰まり風量が低下したため、温風の温度が上昇し吹き出し口が溶融したものと推定される。	A1	他に同種事故は発生しておらず、また、拡大被害に至る可能性が低いことから、取扱品については措置はとれなかった。なお、当該品は既に生産を終了しており、後継機種については、吹き出し口に安全装置(サーモスタ)を追加している。	製造事業者	2007/05/22	01	家庭用電気製品	
2007-0908	2006/12/06	温水洗浄便座	OV-216	(株) INAX		3.製品破壊	温水洗浄便座から発煙した。	約2年6月	洗浄水ポンプのバックに異物が噛み込等により漏水が発生したため、ポンプモーターが過熱し発煙した際に、制御基板にモーターの過電流が流れて駆動素子が異常発熱し、部分的に焦げたものと推定される。	A2	拡大被害に至る可能性が低いことから、取扱品については措置はとれなかった。なお、今後は製造作業をクルールームで行うこととし、さらに異物混入が発生した場合に備えて、本体に安全装置(電源ヒューズ)を追加した。	製造事業者	2007/05/22	01	家庭用電気製品	
2007-0907	2006/11/21	温水洗浄便座	OV-215	(株) INAX		3.製品破壊	温水洗浄便座から臭臭がし、発煙した。	約2年2月	洗浄水ポンプのバックに異物が噛み込等により漏水が発生したため、ポンプモーターが過熱し発煙した際に、制御基板にモーターの過電流が流れて駆動素子が異常発熱し、部分的に焦げたものと推定される。	A2	拡大被害に至る可能性が低いことから、取扱品については措置はとれなかった。なお、今後は製造作業をクルールームで行うこととし、さらに異物混入が発生した場合に備えて、本体に安全装置(電源ヒューズ)を追加した。	製造事業者	2007/05/22	01	家庭用電気製品	
2007-0906	2006/09/20	温水洗浄便座	CW-101 (ブランド) (株) INAX	アイシン精機 (株)		3.製品破壊	温水洗浄便座から臭臭がし、本体の一部が焼損した。	約1年4月	当該機種の本体と便座を接続するコードが損傷し、焼損した可能性が考えられるが、コードが損傷した原因の特定はできなかった。	G1	2008(平成20)年11月26日付けホームページ及び11月27日付け新聞に「便座が暖まらないなどの不具合がある状態で使用を続けると事故に至る可能性がある。」旨告知を掲載するとともに、DMを送付し注意喚起を行い、対象製品の不具合確認を無償で実施している。なお、温水洗浄便座協議会では、2008(平成20)年11月17日付け新聞に事故防止のため告知を掲載するとともに、パンフレットを作成し、注意喚起を行っている。	製造事業者	2007/05/22	01	家庭用電気製品	
2007-0905	2006/05/02	温水洗浄便座	CW-530 (ブランド) (株) INAX	アイシン精機 (株)		3.損傷	温水洗浄便座とトイレ内が焼損した。	約17年	当該機種の本体と便座を接続するコードが損傷し、焼損した可能性が考えられるが、コードが損傷した原因の特定はできなかった。	G1	2008(平成20)年11月26日付けホームページ及び11月27日付け新聞に「便座が暖まらないなどの不具合がある状態で使用を続けると事故に至る可能性がある。」旨告知を掲載するとともに、DMを送付し注意喚起を行い、対象製品の不具合確認を無償で実施している。なお、温水洗浄便座協議会では、2008(平成20)年11月17日付け新聞に事故防止のため告知を掲載するとともに、パンフレットを作成し、注意喚起を行っている。	製造事業者	2007/05/22	01	家庭用電気製品	
2007-0904	2006/02/25	温水洗浄便座【電気温水器】	【電気便座】	3.製品破壊		3.製品破壊	温水洗浄便座が焼損した。	約17年	事故品の事故部位を手で触ると熱いことから、調査できなかった。	G2	事故品の事故部位が手で触ると熱いことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	製造事業者	2007/05/22	01	家庭用電気製品	

年度番号	事故発生日	品名	型式機種	製造・輸入・販売業者	法人番号	被害の種類	事故通知内容	品の使用期	事故原因	事故原因区分	再発防止措置	事故通知者1	事故受付日	品目分類コード	品目	備考
2007-0903	2003/12/16	温水洗浄便座	CW-100 (ブランド (株) INAX)	アイシン精機 (株)		5.製品破損	温水洗浄便座から発煙し、便座コードの一部が折れた。	約8年	当該機本体と便座を接続するコードが損傷し、焼損した可能性が考えられるが、コードが損傷した原因の特定はできなかった。	G1	2008 (平成20) 年11月26日付けホームページ及び11月27日付け新聞に「便座が暖まらないなどの不具合がある状態で使用を続けると事故に繋がる可能性がある。」旨告知を掲載するとともに、DMを送付して注意喚起を行い、対象製品の不具合確認を徹底で実施している。なお、温水洗浄便座協議会では、2008 (平成20) 年11月17日付け新聞に事故防止のため告知を掲載するとともに、パンフレットを作成し、注意喚起を行っている。	製造事業者	2007/05/22	01	家庭用電気製品	
2007-0902	2003/09/28	温水洗浄便座	H1 (ブランド (株) INAX)	アイシン精機 (株)		5.製品破損	温水洗浄便座の一部が焼損した。	約16年	当該機本体と便座を接続するコードが損傷し、焼損した可能性が考えられるが、コードが損傷した原因の特定はできなかった。	G1	2008 (平成20) 年11月26日付けホームページ及び11月27日付け新聞に「便座が暖まらないなどの不具合がある状態で使用を続けると事故に繋がる可能性がある。」旨告知を掲載するとともに、DMを送付して注意喚起を行い、対象製品の不具合確認を徹底で実施している。なお、温水洗浄便座協議会では、2008 (平成20) 年11月17日付け新聞に事故防止のため告知を掲載するとともに、パンフレットを作成し、注意喚起を行っている。	製造事業者	2007/05/22	01	家庭用電気製品	
2007-0901	2003/01/01	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】				5.製品破損	温水洗浄便座から異臭がして発煙し、本体が焼損した。	約14年	当該機本体と便座を接続する便座コードが損傷し、尿等が付着したためトラッキング現象が発生し、発煙した可能性が考えられるが、再現することができず、コードが損傷した状況等も不明であるため、原因の特定はできなかった。	G1	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。なお、当該品は既に生産を終了しており、後継機種については、便座コードが外部に露出しない構造に変更している。	製造事業者	2007/05/22	01	家庭用電気製品	
2007-0900	2000/06/16	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】				5.製品破損	温水洗浄便座から発煙し、本体の一部が焼損した。	約11年	当該品は平成3年に修理履歴があり、内部配線が正常の長さ以上で修理されていたため、正常の位置に収まらずケーブルとベースプレート間に配線が挟み込んでいたことから、断線し発熱したものと推定される。	D2	メンテナンス会社に対し、正しい修理を徹底するよう、修理方法の指導を実施した。	製造事業者	2007/05/22	01	家庭用電気製品	
2007-0899	2000/02/22	温水洗浄便座	H1N (ブランド (株) INAX)	アイシン精機 (株)		4.拡大被害	温水洗浄便座から異臭がして、本体の一部が焼損し、煤でトイレの内壁などを汚染した。	約12年	当該機本体と便座を接続するコードが損傷し、焼損した可能性が考えられるが、コードが損傷した原因の特定はできなかった。	G1	2008 (平成20) 年11月26日付けホームページ及び11月27日付け新聞に「便座が暖まらないなどの不具合がある状態で使用を続けると事故に繋がる可能性がある。」旨告知を掲載するとともに、DMを送付して注意喚起を行い、対象製品の不具合確認を徹底で実施している。なお、温水洗浄便座協議会では、2008 (平成20) 年11月17日付け新聞に事故防止のため告知を掲載するとともに、パンフレットを作成し、注意喚起を行っている。	製造事業者	2007/05/22	01	家庭用電気製品	
2007-0898	2000/02/10	温水洗浄便座	H1 (ブランド (株) INAX)	アイシン精機 (株)		5.製品破損	温水洗浄便座から異臭がし、本体の一部が焼損した。	約10年	当該機本体と便座を接続するコードが損傷し、焼損した可能性が考えられるが、コードが損傷した原因の特定はできなかった。	G1	2008 (平成20) 年11月26日付けホームページ及び11月27日付け新聞に「便座が暖まらないなどの不具合がある状態で使用を続けると事故に繋がる可能性がある。」旨告知を掲載するとともに、DMを送付して注意喚起を行い、対象製品の不具合確認を徹底で実施している。なお、温水洗浄便座協議会では、2008 (平成20) 年11月17日付け新聞に事故防止のため告知を掲載するとともに、パンフレットを作成し、注意喚起を行っている。	製造事業者	2007/05/22	01	家庭用電気製品	
2007-0897	2000/01/30	温水洗浄便座	INAXシャワーイレ CW-741	アイシン精機 (株)		5.製品破損	温水洗浄便座の一部が焼損した。	約3年6月	コントロール基板とリード線のはんだ付け不良（ぬいはんだの不良）によって接触不良となり、発熱・発火したものと推定される。	A2	他に同種事故は発生しておらず、単品不良とみられる事故であったため、措置はとらなかった。なお、当該品は既に生産を終了しており、後継機種については、作業員にぬいはんだ付けに係る再教育を実施した。	製造事業者	2007/05/22	01	家庭用電気製品	
2007-0896	1999/07/09	温水洗浄便座	CW-530 (ブランド (株) INAX)	アイシン精機 (株)		5.製品破損	温水洗浄便座の一部が焼損した。	約10年	当該機本体と便座を接続するコードが損傷し、焼損した可能性が考えられるが、コードが損傷した原因の特定はできなかった。	G1	2008 (平成20) 年11月26日付けホームページ及び11月27日付け新聞に「便座が暖まらないなどの不具合がある状態で使用を続けると事故に繋がる可能性がある。」旨告知を掲載するとともに、DMを送付して注意喚起を行い、対象製品の不具合確認を徹底で実施している。なお、温水洗浄便座協議会では、2008 (平成20) 年11月17日付け新聞に事故防止のため告知を掲載するとともに、パンフレットを作成し、注意喚起を行っている。	製造事業者	2007/05/22	01	家庭用電気製品	
2007-0895	1996/09/03	温水洗浄便座	CW-100 (ブランド (株) INAX)	アイシン精機 (株)		5.製品破損	温水洗浄便座から異臭がし、本体の一部が焼損した。	約7年	当該機本体と便座を接続するコードが損傷し、焼損した可能性が考えられるが、コードが損傷した原因の特定はできなかった。	G1	2008 (平成20) 年11月26日付けホームページ及び11月27日付け新聞に「便座が暖まらないなどの不具合がある状態で使用を続けると事故に繋がる可能性がある。」旨告知を掲載するとともに、DMを送付して注意喚起を行い、対象製品の不具合確認を徹底で実施している。なお、温水洗浄便座協議会では、2008 (平成20) 年11月17日付け新聞に事故防止のため告知を掲載するとともに、パンフレットを作成し、注意喚起を行っている。	製造事業者	2007/05/22	01	家庭用電気製品	
2007-0894	1996/04/04	温水洗浄便座	INAXシャワーイレ CW531	アイシン精機 (株)		5.製品破損	温水洗浄便座から発煙した。	約5年	製品の作業ミスにより、便座部分の1層部分が便座からはみ出したまま組み込まれたため、芯線が半断状態となり、短絡・スパークし、発煙・焼損したものと推定される。	A2	他に同種事故は発生しておらず、単品不良とみられる事故であったため、措置はとらなかった。なお、当該品は既に生産を終了しており、後継機種については、作業員にリード線挿込み防止に係る再教育を実施するとともに、配線固定用テープ面積を拡大し、リード線の折れにくくにも変更している。	製造事業者	2007/05/22	01	家庭用電気製品	
2007-0954	2006/12/26	温水洗浄便座	TCF431#SR2	東陶機器 (株)		5.製品破損	温水洗浄便座の電源プラグをコンセントに差したところ、便座から発煙と異臭がした。	約15年10月	長期使用（約15年10月）により、コントロール基板上的スイッチング素子が熱ストレス等により内部短絡し、発熱・発火したものと推定される。	C1	経年劣化による事故とみられ、他に同種事故は発生しておらず、異品時には安全装置により過電を遮断することから、拡大被害に至る危険性が低いため、措置はとらなかった。なお、当該品製造は既に終了している。	消費者	2007/05/08	01	家庭用電気製品	
2007-0500	2007/03/25	温水洗浄便座【電気便座】				5.製品破損	温水洗浄便座の具合が悪いので取り外して、電源コンセントを入れたままにしていたところ、異臭がして発煙した。	約3年	被害者が事故品の水を抜き、取り外して立てたままの状態でも電源コンセントを入れたために、温水タンクの水位を検出するフロートスイッチが入った状態になった。そのために、温水ヒーターが過電状態になり、その過熱により温水ヒーターの取付部分が溶解し異臭及び発煙に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「必ず蓋込みプラグを抜いてから手入れする。」旨記載されている。	E2	被害者の不注意とみられる事故であったため、措置はとらなかった。	消費者	2007/05/07	01	家庭用電気製品	
2007-0405	2007/03/17	温水洗浄便座	TCF965L	東陶機器 (株)		4.拡大被害	温水洗浄便座から発煙して外部台座の一部が変形し、内部のコントロールローラーの一部が焼損した。	約5年7月	コントロール基板上の温水ヒーター用コネクタ取付部において、ある期間の部品メーカー製コネクタがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが削がれてコネクタ部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とはんだ付け部で、はんだクラックを発生し、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異機間でスパーク・発火したものと推定される。	A2	平成19年4月17日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2007/04/24	01	家庭用電気製品	
2007-0404	2006/12/05	温水洗浄便座	TCF960L #SC1	東陶機器 (株)		4.拡大被害	温水洗浄便座から発煙し、変形した。	約6年4月	コントロール基板上の温水ヒーター用コネクタ取付部において、ある期間の部品メーカー製コネクタがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが削がれてコネクタ部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とはんだ付け部で、はんだクラックを発生し、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異機間でスパーク・発火したものと推定される。	A2	平成19年4月17日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2007/04/24	01	家庭用電気製品	
2007-0403	2007/02/27	温水洗浄便座	TCF975L #NG2	東陶機器 (株)		4.拡大被害	温水洗浄便座から発火して内部が溶解し、壁に煤がついた。	約6年1月	コントロール基板上の温水ヒーター用コネクタ取付部において、ある期間の部品メーカー製コネクタがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが削がれてコネクタ部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とはんだ付け部で、はんだクラックを発生し、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異機間でスパーク・発火したものと推定される。	A2	平成19年4月17日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2007/04/24	01	家庭用電気製品	
2007-0402	2007/03/20	温水洗浄便座	TCF975L #SC4	東陶機器 (株)		4.拡大被害	温水洗浄便座の外部の一部が焼損して変形し、壁に煤がついた。	約7年	コントロール基板上の温水ヒーター用コネクタ取付部において、ある期間の部品メーカー製コネクタがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが削がれてコネクタ部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とはんだ付け部で、はんだクラックを発生し、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異機間でスパーク・発火したものと推定される。	A2	平成19年4月17日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2007/04/24	01	家庭用電気製品	

年度番号	事故発生日	品名	型式機種	製造・輸入・販売業者	法人番号	被害の種別	事故通知内容	品の使用期間	事故原因	事故原因区分	再発防止措置	事故通知者 1	事故受付日	品目分類コード	品目	備考
2007-0401	2007/03/01	温水洗浄便座	TCF965HY #SR2	東陶機器(株)		4.重大被害	温水洗浄便座の右側部から発火して外部の一部を焼損し、壁の一部が黒く変色した。	約6年	コンローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカ製コネクターがメッキ不良を起こしやすいため、使用中の熱膨張及び振動によりメッキが削がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、劣化、発熱により基板の劣化し影響不良となり、異音等でスパーク・発火したものと推定される。	A2	製造業者	2007/04/24	01	家庭用電気製品		
2007-0400	2006/03/09	温水洗浄便座	TCF975L	東陶機器(株)		4.重大被害	温水洗浄便座の外部の一部が焼損し、トイレ全体に煤がついた。	約5年11ヶ月	コンローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカ製コネクターがメッキ不良を起こしやすいため、使用中の熱膨張及び振動によりメッキが削がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、劣化、発熱により基板の劣化し影響不良となり、異音等でスパーク・発火したものと推定される。	A2	製造業者	2007/04/24	01	家庭用電気製品		
2006-3893	1999/04/26	温水洗浄便座	ウォッシュレットS (TCF621)	東陶機器(株)		5.製品破損	温水洗浄便座の便座表面の一部が焦げた。	約2年10ヶ月	製造時の暖房使用用内部配線のコネクター圧着作業時に、内部配線に煤の付いたものが混入したか、または締め付けが強すぎたため、当該部分で接触不良となり発熱し、便座の樹脂部分を焦がし、最終的に内部配線が断線したものと推定される。	A2	製造業者	2007/03/19	01	家庭用電気製品		
2006-3892	1997/06/18	温水洗浄便座	ウォッシュレットS (TCF610)	東陶機器(株)		5.製品破損	温水洗浄便座の便座表面の一部が焦げた。	約7ヶ月	製造時の暖房使用用内部配線のコネクター圧着作業時に、内部配線に煤の付いたものが混入したか、または締め付けが強すぎたため、当該部分で接触不良となり発熱し、便座の樹脂部分を焦がし、最終的に内部配線が断線したものと推定される。	A2	製造業者	2007/03/19	01	家庭用電気製品		
2006-3891	1996/05/09	温水洗浄便座	ウォッシュレットS (TCF610)	東陶機器(株)		5.製品破損	温水洗浄便座の便座表面の一部が焦げた。	約4ヶ月	製造時の暖房使用用内部配線のコネクター圧着作業時に、内部配線に煤の付いたものが混入したか、または締め付けが強すぎたため、当該部分で接触不良となり発熱し、便座の樹脂部分を焦がし、最終的に内部配線が断線したものと推定される。	A2	製造業者	2007/03/19	01	家庭用電気製品		
2006-3890	1996/02/17	温水洗浄便座	ウォッシュレットS (TCF630)	東陶機器(株)		5.製品破損	温水洗浄便座の便座表面の一部が焦げた。	約3ヶ月	製造時の暖房使用用内部配線のコネクター圧着作業時に、内部配線に煤の付いたものが混入したか、または締め付けが強すぎたため、当該部分で接触不良となり発熱し、便座の樹脂部分を焦がし、最終的に内部配線が断線したものと推定される。	A2	製造業者	2007/03/19	01	家庭用電気製品		
2006-3477	2007/02/15	暖房便座【電気便座】				4.重大被害	木造平屋住宅から出火し全焼した。 トイレの焼損が著しかった。	不明	暖房便座の電源コードが状態で、温度コントローラーや電源コード等に発火の危険がなれなかったことから、製品に起因する事故ではないものと推定される。	F2	消防機関	2007/02/20	01	家庭用電気製品		
2006-3092	2006/12/31	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便座】【電気便座】				4.重大被害	温水洗浄便座が焼けて溶け、トイレ内に煤で黒くなった。	約9年	接続状態から暖房便座付近より出火したと考えられるが、焼損が著しく、残存していた制御基板、電源トランス等の電気部品から出火元となる箇所は認められず、原因の特定はできなかった。	G1	製造業者	2007/01/31	01	家庭用電気製品		
2006-2404	1997/01/11	温水洗浄便座	ウォッシュレットS (TCF620)	東陶機器(株)		5.製品破損	温水洗浄便座の便座の一部が焦げており、トイレに煤が充満していた。	約5ヶ月	製造時の暖房使用用内部配線のコネクター圧着作業時に、内部配線に煤の付いたものが混入したか、または締め付けが強すぎたため、当該部分で接触不良となり発熱し、便座の樹脂部分を焦がし、最終的に内部配線が断線したものと推定される。	A2	消費者	2006/12/15	01	家庭用電気製品		
2006-1666	2006/01/16	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便座】【電気便座】				4.重大被害	温水洗浄便座周辺より出火し、水造2階建て住宅約150平方メートルを全焼した。	約7年7ヶ月	当該種の残存している部品には異常発熱した箇所は認められず、焼損が著しいため、原因の特定はできなかった。	G1	製造業者	2006/10/23	01	家庭用電気製品		
2006-1072	2006/06/10	温水洗浄便座【電気便座】				4.重大被害	便室内の男子トイレから出火し、温水洗浄便座の先端と便座との中央に火が焼損した。	約3年6ヶ月	本体外部樹脂の焼損が著しいものの、ヒーター線、制御基板、モーター等の電気部品に異常はなく、発火の痕跡は認められず、安全装置(温度ヒューズ)は作動していなかったことから、製品に起因する事故ではないものと推定される。	F2	警察機関	2006/08/17	01	家庭用電気製品		
2006-1002	2006/07/06	温水洗浄便座【温水洗浄便座】				3.軽傷	温水洗浄便座を使用中に洗浄ボタンを押したところ、熱湯が出た肛門に火傷を負った。	約2年8ヶ月	内部に異常は確認できず、正常に作動し、機械式の安全装置も正常に作動することから、原因の特定はできなかった。	G1	消費者センター	2006/08/07	01	家庭用電気製品		
2006-0718	2006/06/27	暖房便座【電気便座】				4.重大被害	暖房便座から発煙し、焼損した。その際、便器が破損するとともに、周囲の壁が焦げた。	約4年6ヶ月	便座のヒータースイッチが「OFF」となっており、電源コードの溶融部を解析した結果は二次過電である可能性が高く、本体の焼損が著しいことから、原因の特定はできなかった。	G1	消防機関	2006/06/27	01	家庭用電気製品		
2006-0161	2006/03/23	温水洗浄便座【電気温水器】				4.重大被害	トイレのコンセント付近から発煙、温水洗浄便座の漏電遮断機が電源プラグと壁面コンセントが焼損し、壁の一部を焦がした。	約2ヶ月	当該種の電源プラグ部分の焼損が著しく、両極刀とも溶断していたこと、またプラグ部分から電線成分が検出されたことから、電線を含む物質がプラグに付着し、トラッキング現象が発生した可能性が考えられるが、使用状況等が不明であることから、原因の特定はできなかった。	G1	製造業者	2006/04/13	01	家庭用電気製品		
2005-1659	2005/12/09	温水洗浄便座【シャワートイレFH】	アイン精工機(株)			4.重大被害	温水洗浄便座から発煙し、便座部分が焼損した。なお、前日に便座スイッチを入れたが、事故当日は冷たかった。	約17年	便座取付部分の電源リード線が断線してより溶融線が認められたことから、長期使用(約17年)により、当該部分で使用期間時の繰り返しの曲による機械的ストレスを受け、リード線の芯線部分が断線状態となり、短絡・スパーク、周辺樹脂に着火・発熱したものと推定される。	C1	消防機関	2005/12/16	01	家庭用電気製品		
2005-0880	2005/08/07	温水洗浄便座【電気温水器】				5.製品破損	電気製品販売店の1階トイレ内から出火し、温水洗浄便座の本体右上方の一部が焦げた。	不明	事故品の内部が異常に焦びており、トイレ用の酸、アルカリ性の洗浄剤のような強いにおいがしたことから、酸、アルカリ性の洗浄剤が使用されたことで、酸化したガス等影響で金属部分が異常な錆びが発生し、温度過熱防止サーモの端子接続部で接触抵抗が増大し、さらに接続する水造2階建て住宅約60平方メートルを半焼し、1名が顔などに軽火傷を負った。	E1	製造業者	2005/08/25	01	家庭用電気製品		
2005-0843	2005/08/03	温水洗浄便座【電気便座】				4.重大被害	温水洗浄便座が一部焼損し、トイレ室内が黒く汚損した。	約15年	本体内部のプリント基板の基板上に汚水等がたまった痕跡があるものの、完成品では水が滲入する部分がないことから、上ケースにひび割れや操作板の割れが発生し、その部分から清掃時の洗剤等が浸入し、内部のリード線を伝ってプリント基板のトリアックリード部でトラッキング現象が発生し、発熱、発火した可能性が考えられるが、上ケース上面の焼損が著しく、原因の特定はできなかった。	G1	製造業者	2005/08/18	01	家庭用電気製品		
2004-2220	2004/12/17	温水洗浄便座	TCF470S C1	東陶機器(株)		5.製品破損	集合住宅の4階の一室に設置された、洗浄乾燥機能付き暖房便座のコンローラー部品の一部が焼損した。	約10年	コンローラー基板のソリッド・ステート・リレーが焼損しており、焦げの状況から当該部のはんだ付不良によるものと推定される。	A2	消防機関	2005/01/25	01	家庭用電気製品		
2003-1353	2003/12/11	暖房便座【電気便座】				3.軽傷	木造平屋建て住宅のトイレから出火し、水造2階建て住宅約60平方メートルを半焼し、1名が顔などに軽火傷を負った。	不明	消防の調査では、簡易温水洗浄便座の温度制御コントローラーに接続するヒーター線が絶縁劣化したため、発熱・発火し、便座及び便座カバーに発熱、火災に至ったものとみており、住居は借家であり、被害者は入居時から暖房便座の異常(便座温度が異常に高い状態)を知りつつ、そのまま使用を継続していた。	E2	製品評価技術基盤機構	2003/12/19	01	家庭用電気製品		
2003-0679	2003/07/10	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便座】				5.製品破損	トイレの便座から発火し、トイレ内に煤が充満した。	約15年	被害者は、事故発生直前まで器具各部の異常(洗浄機能の故障、消臭機能の故障、異音)を知りながら使用を継続していたことにより、器具内部電圧等の水系統に水漏れが生じ、制御基板等に水が付着したために誤動作が発生し、消臭用モーターが長時間連続運転電圧を上げ、モーターコイルがショートし、器具を焼損したものと推定される。	E1	製造業者	2003/08/08	01	家庭用電気製品		
2003-0486	2003/06/09	温水洗浄便座	TCF741	東陶機器(株)		4.重大被害	温水洗浄便座を修理し1.0分ほど経過したところ、本体内部から発煙、出火しているのに気付かず、便器内の水をかけて消火した。	約6年11ヶ月	A C基板及び便座中央ノズル付近に換気箇所が認められ、A C基板については、温水ヒーター電源用コネクターの基板取付部のはんだ付け不良(クラック等の発生)があり、当該箇所ではたき、基板内のポリウレタン充填剤及び基板アースに着火したものと推定される。温水便座中央ノズル付近については、電線部品であるモーターに発火の痕跡はなく、A C基板からの発熱についても再発せず、原因の特定はできなかった。	A2	消防機関	2003/07/04	01	家庭用電気製品		

年度番号	事故発生日	品名	型式機種	製造・輸入・販売業者	法人番号	被害の種類	事故通知内容	品の使用期間	事故原因	事故原因区分	再発防止措置	事故通知者 1	事故受付日	品目分類コード	品目	備考
2002-1991	2002/12/31	温水洗浄便座【電気便座】				4.拡大被害	温水洗浄便座の本体中央部とふたが焼け、トイレ内の壁がすすけた。	不明	消防の調査では、燃焼状況から便座の可燃部より出火し、便座ふた、本体フレームに延焼したものとされているが、燃焼開始時のトリップ線(電圧降下センサー線)には異常がみられず、発火源は便座本体外部部からと考えられるが、原因の特定はできなかった。	G1	事故原因が不明であるため、特に措置はとれなかった。	製造事業者	2003/03/13	01	家庭用電気製品	
2002-1095	2002/10/22	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥機式便座】				5.製品破壊	トイレで「バタバタ」と音がするのを見に行くと、温水便座のズリ付近から20～30cmの長さ上がっていた。	約4年	本体内部のヒーター、モーター、配線類の電気部品に、断線や接触不良等の異常および発火の痕跡はみられず、焼損した樹脂パーツを交換したところ正常動作することから、製品からの出火ではないものと推定される。	F2	製品に起因しない事故であったため、措置はとらなかった。	消費者センター	2002/11/19	01	家庭用電気製品	
2001-0165	2001/01/11	温水洗浄便座【電気便座】				4.拡大被害	「バタバタ」という物音に気づき、トイレを見たところ、温水洗浄便座が発火していたので、台所の食器洗い槽を使い、水で消火した。	約12年	電気配線用の温水/ガス先断付近から断線したものと考えられるが、当該箇所には電圧降下センサー線が敷設されており、発火した痕跡が認められないため、製品に起因する事故ではないものと推定される。	F2	製品に起因しない事故であるため、特に措置はとらなかった。	県の行政機関	2001/05/08	01	家庭用電気製品	
2000-0407	2000/01/24	温水洗浄便座				4.拡大被害	被害者が「バーン」という音と煙に気づき、トイレの扉を開けたところ、トイレ室内が燃えていた。トイレ隣の洗面所からバケツ3杯の水をかけたが、火勢が収まらなかったため、消防に通報した。	約3年6月	事故品の基盤部、便座部などが燃焼又は粉塵しており、入手した部品からは出火したとみられる痕跡がなかったため、原因の特定はできなかった。	G1	事故原因が不明であるため、特に措置はとれなかった。	製造事業者	2000/08/16	01	家庭用電気製品	
1999-0927	1999/12/31	温水洗浄便座				3.軽傷	温水洗浄便座から出火して2層を焼損し、被害者夫婦が軽い火傷をした。	約2年2月	温水洗浄便座の本体左側の電気コードに芯線の交換、スリーブ撤去等が多数みられたことから、本体左断付近から出火したものと推定されるが、トラッキングの痕跡等がなく、他の部分に關しても発熱痕跡等の事故原因となる事象を確認できず、事故原因を特定できなかった。	G1	事故原因が不明であるため、特に措置はとれなかった。	製造事業者	2000/02/10	01	家庭用電気製品	
1999-0698	1999/12/26	温水洗浄便座	フェシュレット G I T C F 7 S 0 # S 1	東陶機器 (株)		5.製品破壊	保温便座が異常音を生じて発煙し、発火した。火がすぐ消えたために拡大被害はなかった。	約4年	コントロールに搭載している温水コネクターのほんだ部分が焼損していることから、ほんだ量が少なかったために、過熱時に発生する熱の影響ではほんだ部が燃焼し、半断状態を除々に加熱されて基板の炭化が進み発煙・発火したものと推定される。	A2	当該製品は、現在製造中であり、回路の周りに可燃物が多く拡大被害の可能性が高いことから、特に取置しない。なお、現行生産品においては、コントロールのほんだ部は品質管理の強化を図った。	消費者センター	2000/01/17	01	家庭用電気製品	
1999-0549	1999/08/22	温水暖房便座				4.拡大被害	トイレの温水暖房便座から発火していたので、消火器で消火した。なお、4日前に水が入ると水を排した際、温水暖房便座から少し煙が上がったことを確認している。	約13年8月	便座暖房用ヒーター線が断線しており、当該断線部から液期の成分が放出されたこと、及びヒーター線の一本が異常に腐食していることから、断線時の水掛け又は便座ヒーター線断線の液行などによるヒーター部への水及び液期の浸入により、ヒーター線が腐食し、便座閉閉時の温度により断線が生じ、断線が発熱し、当日夜火・出火したものと推定されるが、ヒーター線内に水が浸入した原因は特定できなかった。	G1	水の浸入による経年劣化事故であり、水の浸入の原因が不明なため、特に措置はとらなかった。なお、平成2年以降の製品は、ヒーター線をベジ内部に通し、便座閉閉時の温度応力がかからないようにするとともに、外部露出部がない構造に変更している。	製造事業者	1999/11/29	01	家庭用電気製品	
1999-0337	1999/04/02	温水洗浄便座				4.拡大被害	トイレから黒煙が出ているのを見し、消火するとともに消防署へ通報した。すすにより、トイレ内を汚損した。	約18年	事故品は使用開始後18年を経過し、熱交換器からノズルへの給水ホース部にクラックが発生し漏水したため、100V充電部のバイメタルW部を腐食させ、発火に至ったものと推定される。なお、被害者は半年前から漏水に気付いていたが、ヒーター機能に異常が認められ、水受けを置いて使用していた。	G1	被害者の誤使用とみられる事故であるため、特に措置はとらなかった。	製造事業者	1999/08/12	01	家庭用電気製品	
1999-0336	1998/10/21	温水洗浄便座				4.拡大被害	便座から出火しているのを見し、消防署へ通報するとともに、家電で消火した。トイレの天井や壁が、すすで汚損した。	約10年	事故品の燃焼及び煙害がほぼ完全に発生していたこと、コントロール上の燃焼温度が比較的大きく、他のユニットの燃焼温度は小さいことから、発火源は便座又はコントロール部からと推測し、過熱な条件設定による試験を行ったが、便座部及びコントロールからの発火は確認できなかったため、原因の特定はできなかった。	G1	事故原因が不明であるため、特に措置はとれなかった。	製造事業者	1999/08/12	01	家庭用電気製品	
1998-0643	1998/10/09	温水洗浄便座	G u - T C F 4 7 0	東陶機器 (株)		5.製品破壊	使用中に気づき臭いにおいがした際、使用不能となった。内部を観察すると、乾燥装置の温風ダクト樹脂部が溶融し、穴が開いていた。	約4年	S S R (樹脂部分)のコンデンサの短絡により、温風ヒータ及び温水ヒーターが連続通電状態となった。それによって、温風ダクトが加熱され、安全装置である温度ヒューズが作動し、ヒーターの過電が遮断されたが、その際に断熱材端部の温風ダクト樹脂部が一部溶融し異常が発生した。温水ヒーターも連続通電状態となったため、安全装置であるバイメタルが作動し、製品への過電が遮断され、使用不能となったものと推定される。	A3	同製品については既に製造を終了しており、同製品については部品メーカーの変更、コンデンサの検査体制の強化など品質管理を強化した。また、平成7年3月以降の同製品については、コンデンサの短絡などの不具合が生じている温風ダクト樹脂部(穴)の穴をなくし、断熱材の穴を大きくし、樹脂が溶ける温度以上にヒーターの電源が切れるように仕様を変更した。	消費者センター	1998/11/11	01	家庭用電気製品	
1998-0621	1998/07/28	温水洗浄便座				5.製品破壊	温水洗浄便座が作動しないので、メーカーに連絡し、修理に来たもらったが部品が持ち合わせがないため、後日再修理することになった。翌朝、トイレからプラスチックが飛び出たようにおぼろげに、操作部を触ってみると発熱しており、周辺には飛び出がっていた。	約2年	洗濯機用モーターが故障したが、管理業者が設計変更された制御基板用モーター以外のものを交換したところで修理を中断、電源を切らずに放置したため、制御基板上の洗濯機用モーター駆動用のICに過大な電流が流れ、破壊し熱に陥り、ICが連続加熱したことにより、周辺樹脂を溶融させるとともに操作部の発熱に至ったものと推定される。	D2	品質管理の強化及びメンテナンス研修等の教育の徹底を図った。	県の行政機関	1998/10/30	01	家庭用電気製品	
1997-0656	1997/09/13	暖房便座				4.拡大被害	自宅のトイレから発煙しているのを見し、タオルを用いて消火した。	約6年6月	暖房便座のヒータがつながりヒーター線の絶縁が剥がれ、水、洗剤によってリード線が腐食し、便座の閉閉により断線したため、トラッキング現象により発火したものとみられるが、いつの時点で電が通ったのか、原因の特定はできなかった。	G1	事故原因が不明のため、措置はとれなかった。なお、設計強度上センサー線がヒーター線より先に断線し、ヒーター線が効かないようにしている。	製造事業者	1997/11/14	01	家庭用電気製品	
1997-0185	1997/04/21	暖房便座				4.拡大被害	トイレから出火し、暖房便座と扉の一部を焼いた。	約2年8月	事故品が入手できなかったため、同等品を用いて電気用品取締法の技術基準による安全性の確認及び市販の電業系洗剤を用いた場合の便座内部への水の浸入による発煙等の異常の発生を中心にテストを実施したが、特に異常は見られず事故原因の特定はできなかった。また、約2年8か月の使用期間の原による腐食性ガスの影響についても確認できなかった。	G1	事故原因が不明であるため、特に措置はとれなかった。	製品評価技術機構	1997/06/17	01	家庭用電気製品	
1996-0235	1996/06/05	温水洗浄便座	T C F - 3 3 1	東陶機器 (株)		5.製品破壊	便座リード線接続端子部が洗浄剤や尿等の影響による腐食性のあるガスによって腐食し、リード線本体が溶け、半断状態となった。局部的に発熱し、リード線保護が溶けると共に、便座コードがショートし、発煙に至ったものと推定される。なお、便座コードは難燃グレードの材料を使用していることから、拡大被害に至る可能性は低い。	約8年		C1	経年劣化による事故であるため、特に措置はとらなかった。	消費者センター	1996/07/05	01	家庭用電気製品	